

第6次高浜市総合計画の推進に向けた市民意識調査

**まちづくりや市民生活の現状
及び児童・生徒の意識や行動に関する
アンケート報告書**

**平成24年6月
高浜市**

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査の概要	1
(2) 調査結果の見方	1
2 まちづくりや市民生活の現状についてのアンケート	2
(1) 回答者の属性	2
(2) 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について	6
(3) 高浜市のまちの状況について（基本計画の目標（施策）について） ...	12
3 児童・生徒の意識や行動に関するアンケート	40
(1) 回答者の属性	40
(2) 児童・生徒の意識	42
(3) 地域行事やボランティア活動の参加・参画状況	50

1 調査の概要

(1) 調査の概要

◆調査目的	本調査は、平成23年度からスタートした「第6次高浜市総合計画」の進行管理にあたり、基本計画に掲げた目標の達成度合いや、「みんなで目指すまちづくり指標」の現状値を測定するために実施した。 調査結果（分析・とりまとめ結果）は、「第6次高浜市総合計画推進会議」や「高浜市の未来を創る市民会議」で行う「施策評価」や、行政評価委員会で 行う「事務事業評価」に活用する。	
◆調査区分	まちづくりや市民生活の現状についてのアンケート	児童・生徒の意識や行動に関するアンケート
◆調査対象	高浜市内在住の18歳以上の市民から無作為に抽出した2,500人	高浜市内の小学3年生から中学3年生合計3,435人
◆調査項目	① 回答者の属性 ② 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について ③ 高浜市のまちの状況について ④ 高浜市のまちづくりについての自由意見	① 回答者の属性 ② 児童・生徒の意識 ③ 高浜市の「好きなところ」「嫌いなところ」 ④ 高浜市のまちづくりについての自由意見 ⑤ 地域行事やボランティア活動の参加・参画状況
◆調査方法	郵送による配布・回収	学校を通じた配布・回収
◆調査期間	平成24年4月26日に配布 5月15日を回答期限として回収	平成24年4月26日に配布 5月11日までに回収
◆回収状況	・配布数 2,500票 ・有効回収数 1,104票 ・有効回収率 44.2% 《参考》前回調査（平成22年度） 有効回収率 51.4%	・配布数 3,435票 ・有効回収数 3,362票 ・有効回収率 97.9% 《参考》前回調査（平成22年度） 有効回収率 92.0%

(2) 調査結果の見方

○比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。

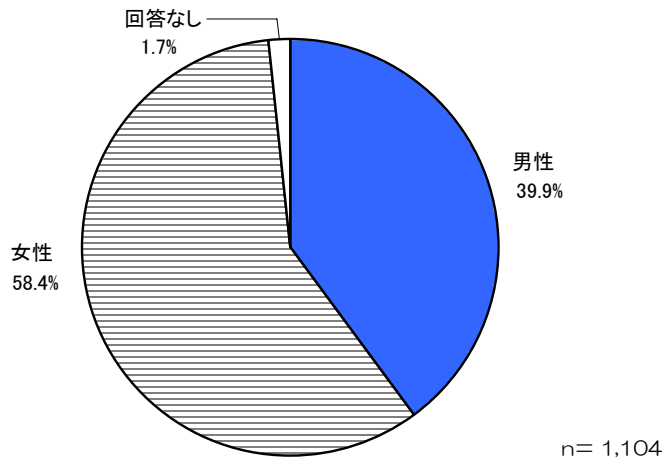
○基数となる実数はnとして掲載し、各グラフの比率はnを母数とした割合を示しています。

2 まちづくりや市民生活の現状についてのアンケート

(1) 回答者の属性

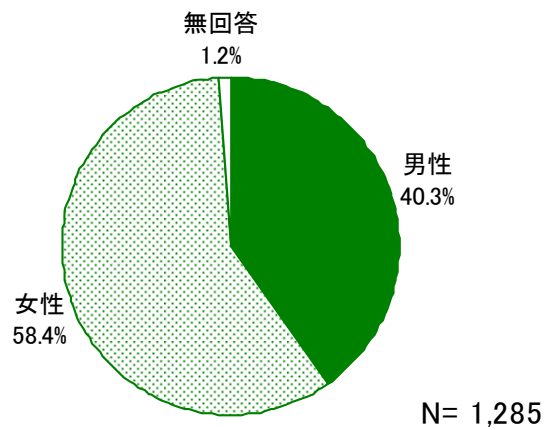
1) 性別

「女性」が 58.4%、「男性」が 39.9%
となっています。



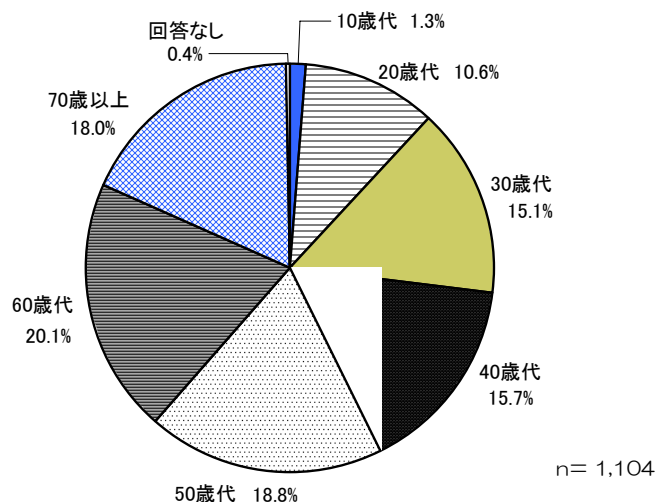
《参考: 前回調査の結果 (H22 年度)》

「女性」が 58.4%、「男性」が 40.3%
となっています。



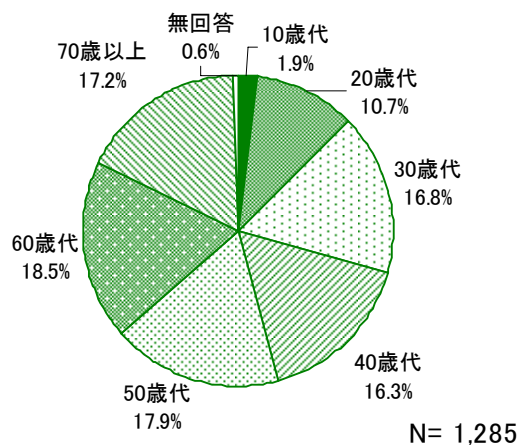
2) 年齢

最も多いのは「60歳代」20.1%、次いで「50歳代」18.8%、「70歳以上」18.0%で、50歳以上で半数以上を占めています。



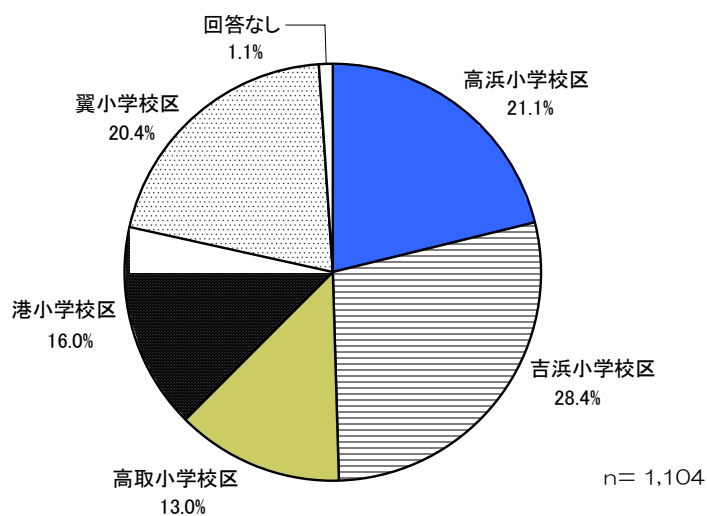
《参考: 前回調査の結果(H22年度)》

最も多いのは「60歳代」18.5%、次いで「50歳代」17.9%、「70歳以上」17.2%で、50歳以上が約半数を占めています。



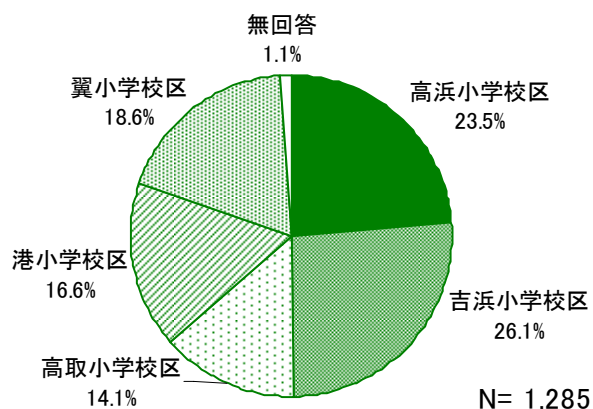
3) 居住地区 (小学校区)

最も多いのは「吉浜小学校区」で28.4%、「高浜小学校区」(21.1%)、「翼小学校区」(20.4%)の順になっています。



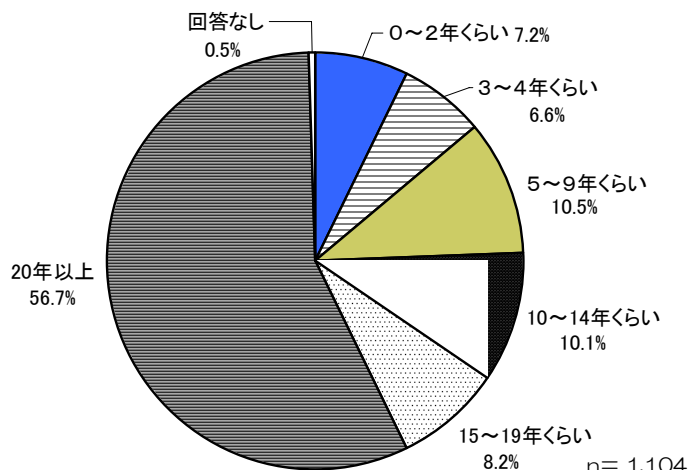
《参考: 前回調査の結果(H22年度)》

最も多いのは「吉浜小学校区」で26.1%、次いで「高浜小学校区」23.5%、「翼小学校区」18.6%となっていま



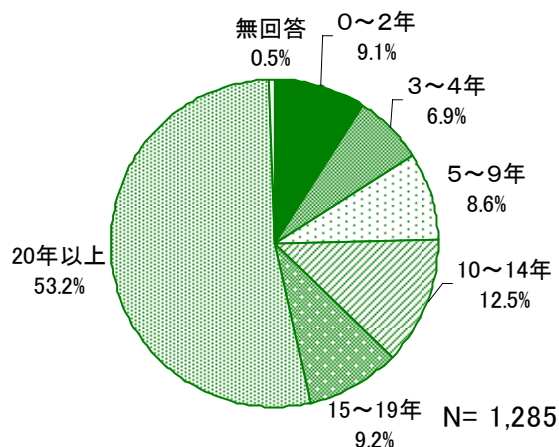
4) 居住年数

最も多いのは「20年以上」が56.7%と半数以上を占めており、「5～9年くらい」(10.5%)、「10～14年くらい」(10.1%)が続いています。



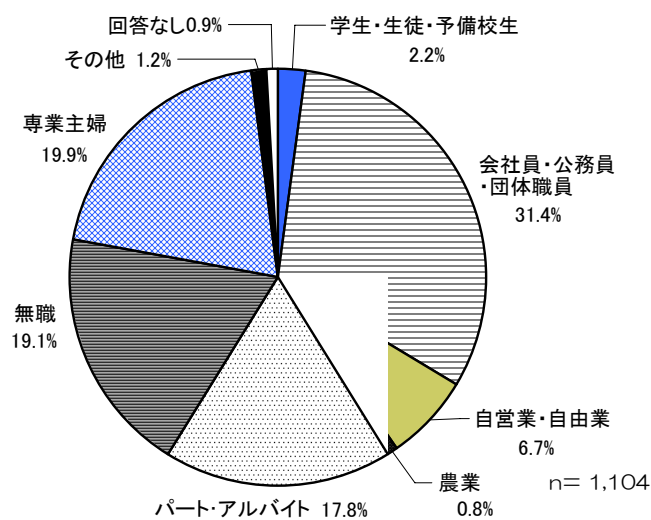
《参考: 前回調査の結果(H22年度)》

最も多いのは「20年以上」が53.2%で約半数を占めており、次いで「10年～14年」が12.5%となっています。



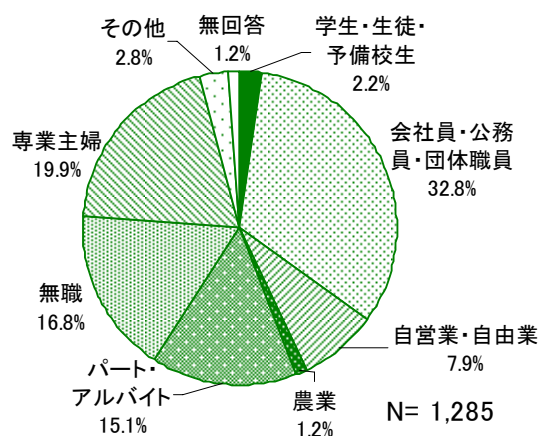
5) 職業

「会社員・公務員・団体職員」(31.4%)が最も多く、「専業主婦」(19.9%)、「無職」(19.1%)、「パート・アルバイト」(17.8%)が続いています。



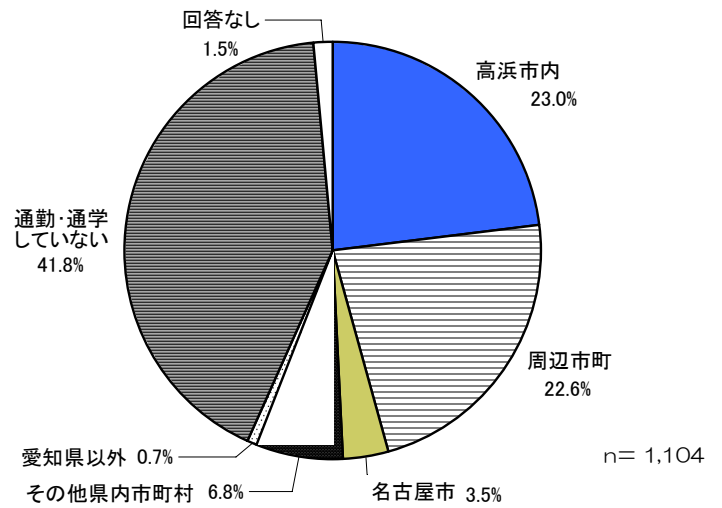
《参考: 前回調査の結果(H22年度)》

最も多いのは「会社員・公務員・団体職員」で32.8%、次いで「専業主婦」19.9%、「無職」16.8%、「パート・アルバイト」15.1%となっています。



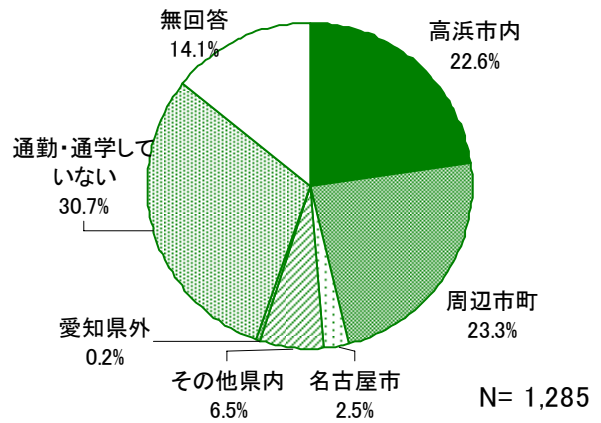
6) 通勤・通学先

通勤・通学しているのは回答者の6割近くで、通勤・通学先として最も多いのは「高浜市内」(23.0%)で、次いで「周辺市町(安城・刈谷・碧南・半田・東浦)」が22.6%となっています。



《参考: 前回調査の結果(H22年度)》

通勤・通学しているのは約55%で、通勤・通学先として最も多いのは「高浜市内」が22.6%、次いで「周辺市町(安城・刈谷・碧南・半田・東浦)」が23.3%となっています。

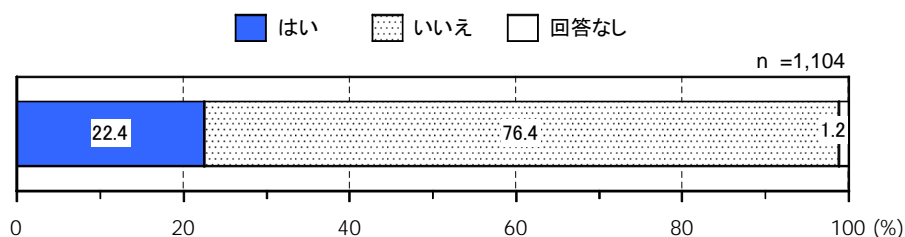


(2) 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について

高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について（設問1～19）の結果の概要は以下のとおりです。

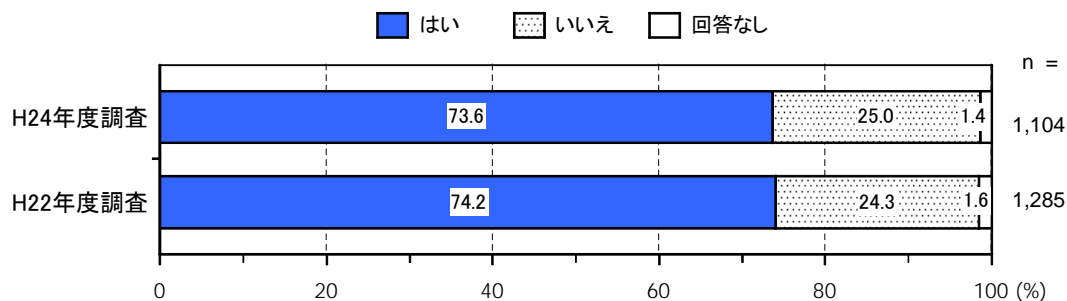
なお、平成22年度に実施した前回の調査と同様の設問については、「H22年度調査」の結果を併記しました。

設問1 あなたは、高浜市のまちづくりのキャッチフレーズ「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を知っていますか？

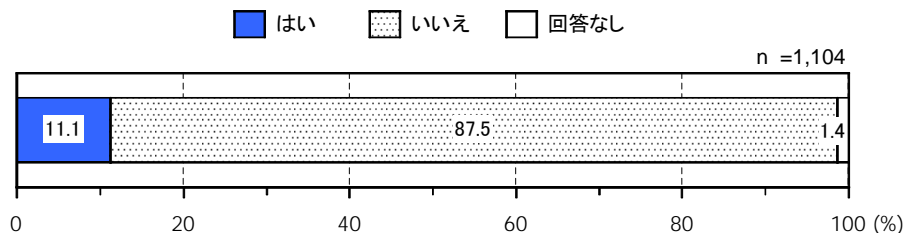


※H22年度調査なし

設問2 あなたは、高浜市の財政状況に関心がありますか？

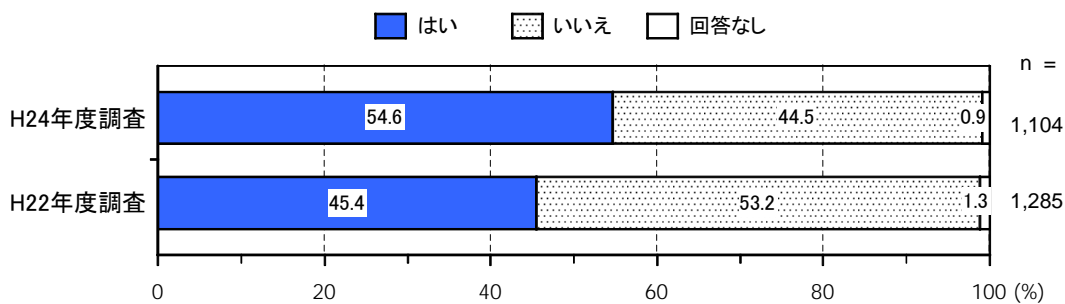


設問3 あなたは、「私たちの愛するまち高浜市を未来へとつなげていくために」を前文とする「高浜市自治基本条例」を知っていますか？

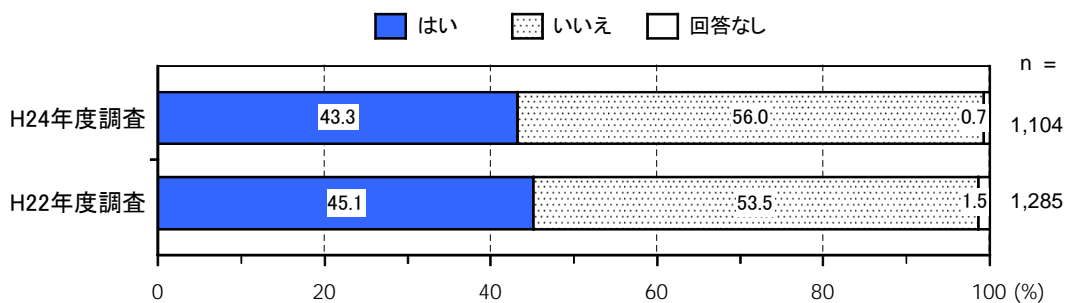


※H22年度調査なし

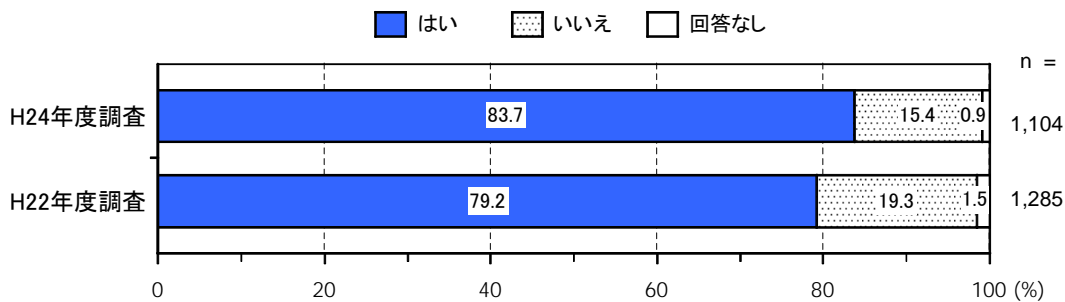
設問4 あなたは、地域活動に参加したことがありますか？



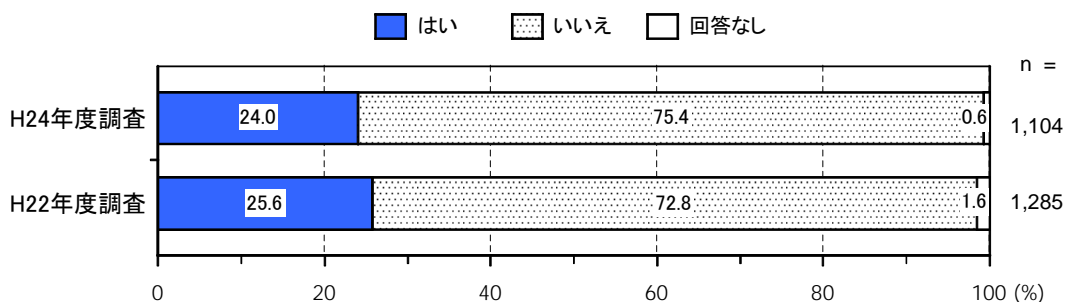
設問5 あなたは、子どもとふれあう行事に参加したことがありますか？



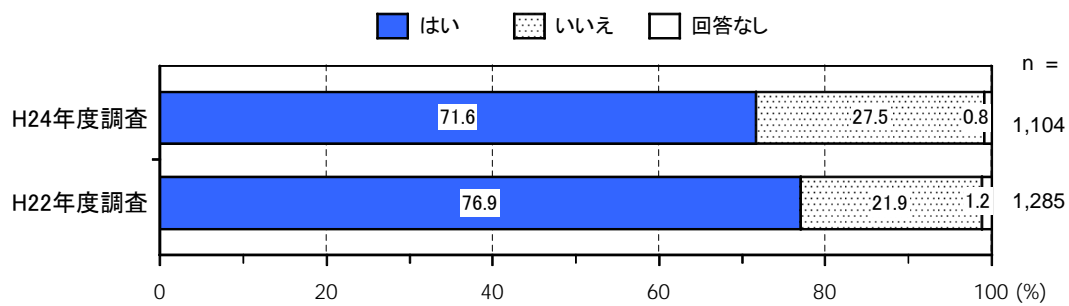
設問6 あなたは、日ごろから省エネや省資源など環境に配慮した生活をしていますか？



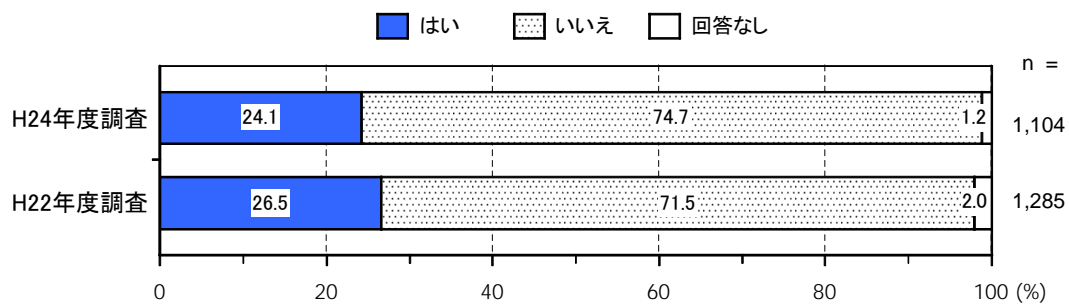
設問7 あなたは、公園・緑地づくりや、街路樹の手入れ、憩いの場となる川づくり・海辺づくりに参加したことがありますか？



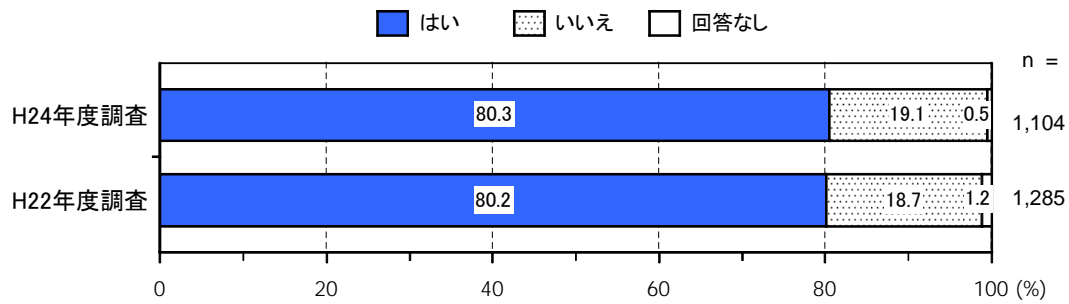
設問8 あなたは、悩みごとを身近に相談できる人や場所がありますか？



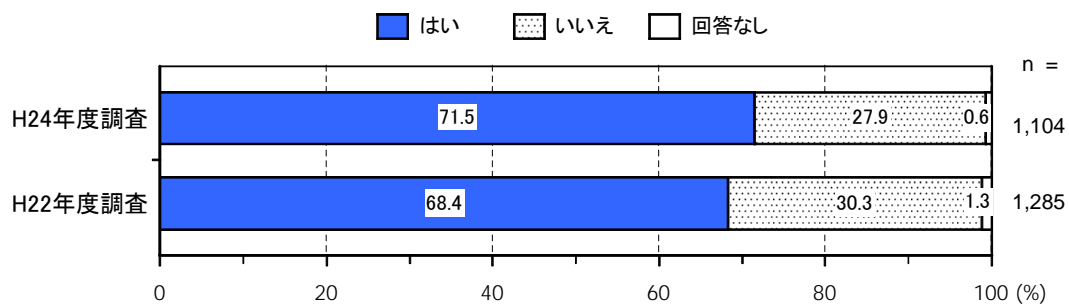
設問9 あなたは、地域で高齢者や障がい者の見守りや生活の手助けをしていますか？



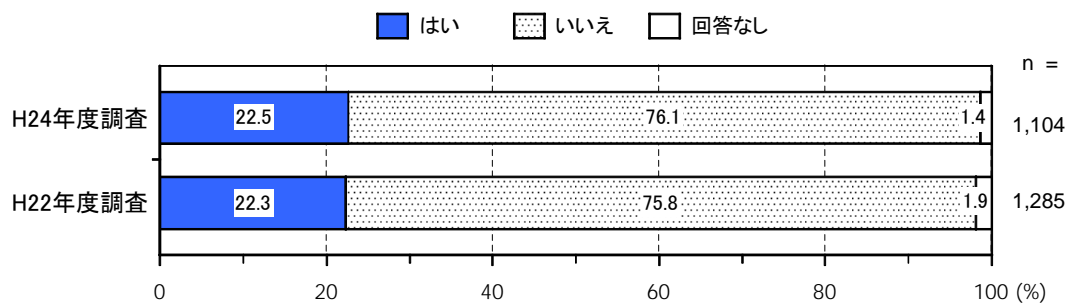
設問10 あなたは、栄養や食生活に気をつけていますか？



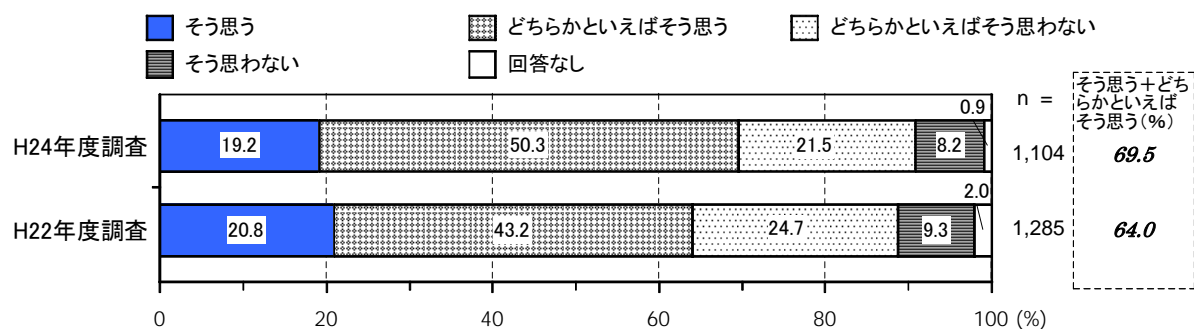
設問11 あなたは、かかりつけ医を持っていますか？



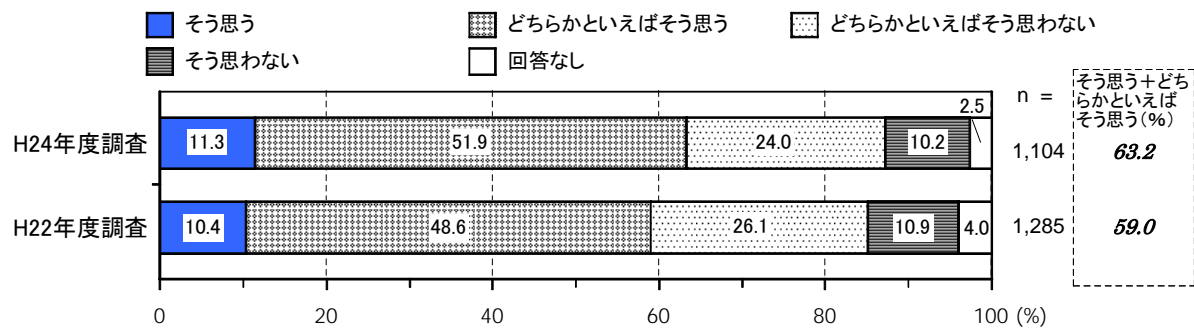
設問 12 あなたは、地震の備えができていますか？



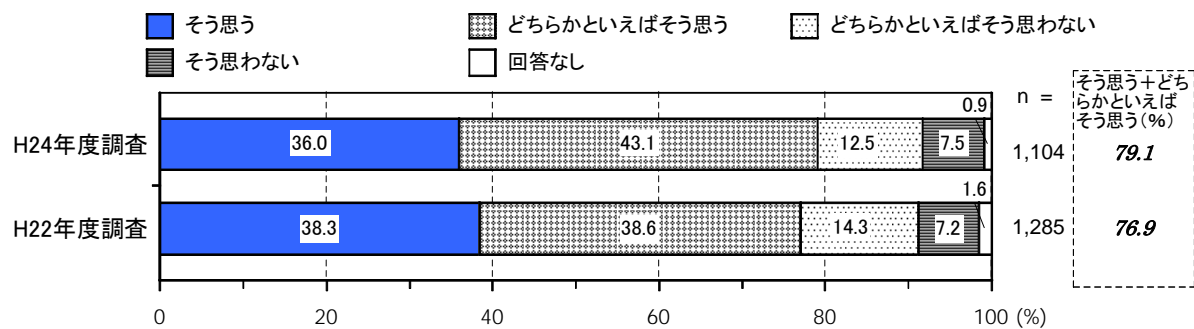
設問 13 高浜市に愛着や誇りを感じる。



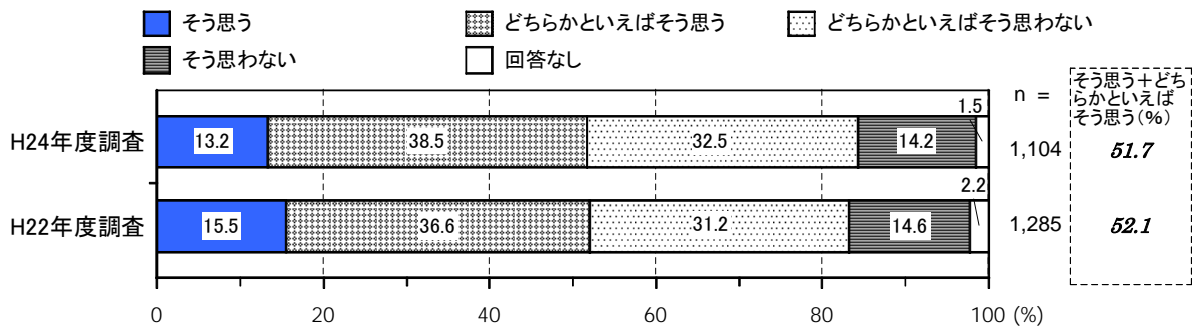
設問 14 高浜市は、子どもを産み、育てやすいまちだと思う。



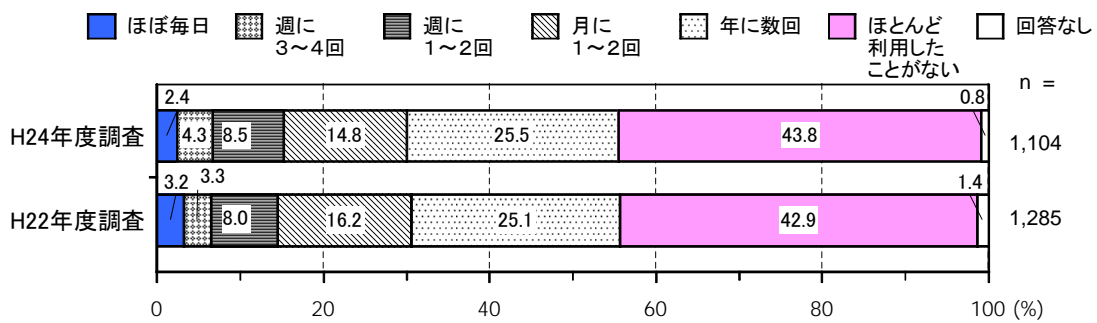
設問 15 今後も高浜市に長く住み続けたいと思う。



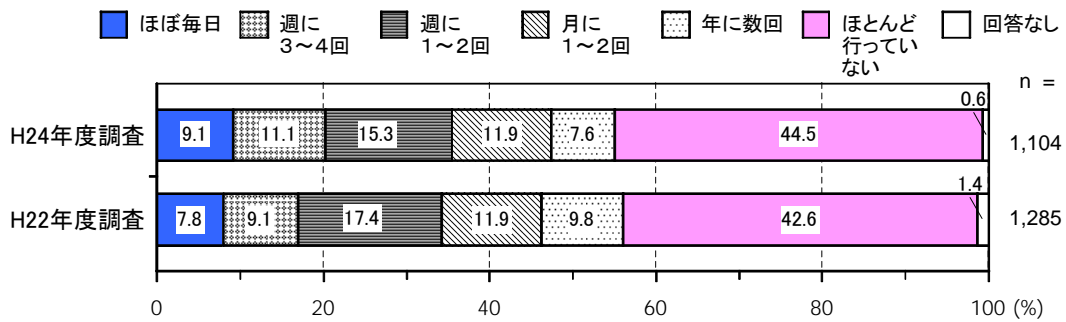
設問 16 高浜市は、歩きやすく、運転しやすいまちだと思う。



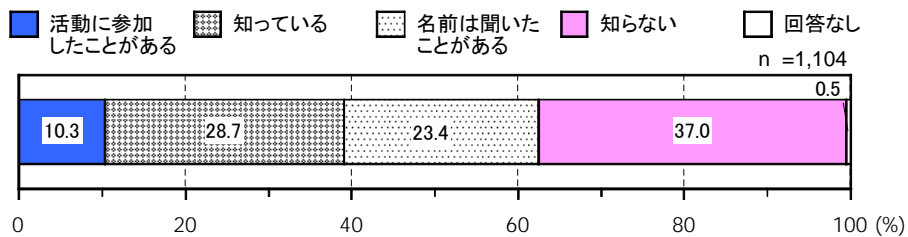
設問 17 あなたは、高浜市内の公園をどのくらいの頻度で利用しますか？



設問 18 あなたは、運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っていますか？



設問 19 あなたは、小学校区を単位としてまちづくり活動を行っている「まちづくり協議会」を知っていますか？



※H22年度調査なし

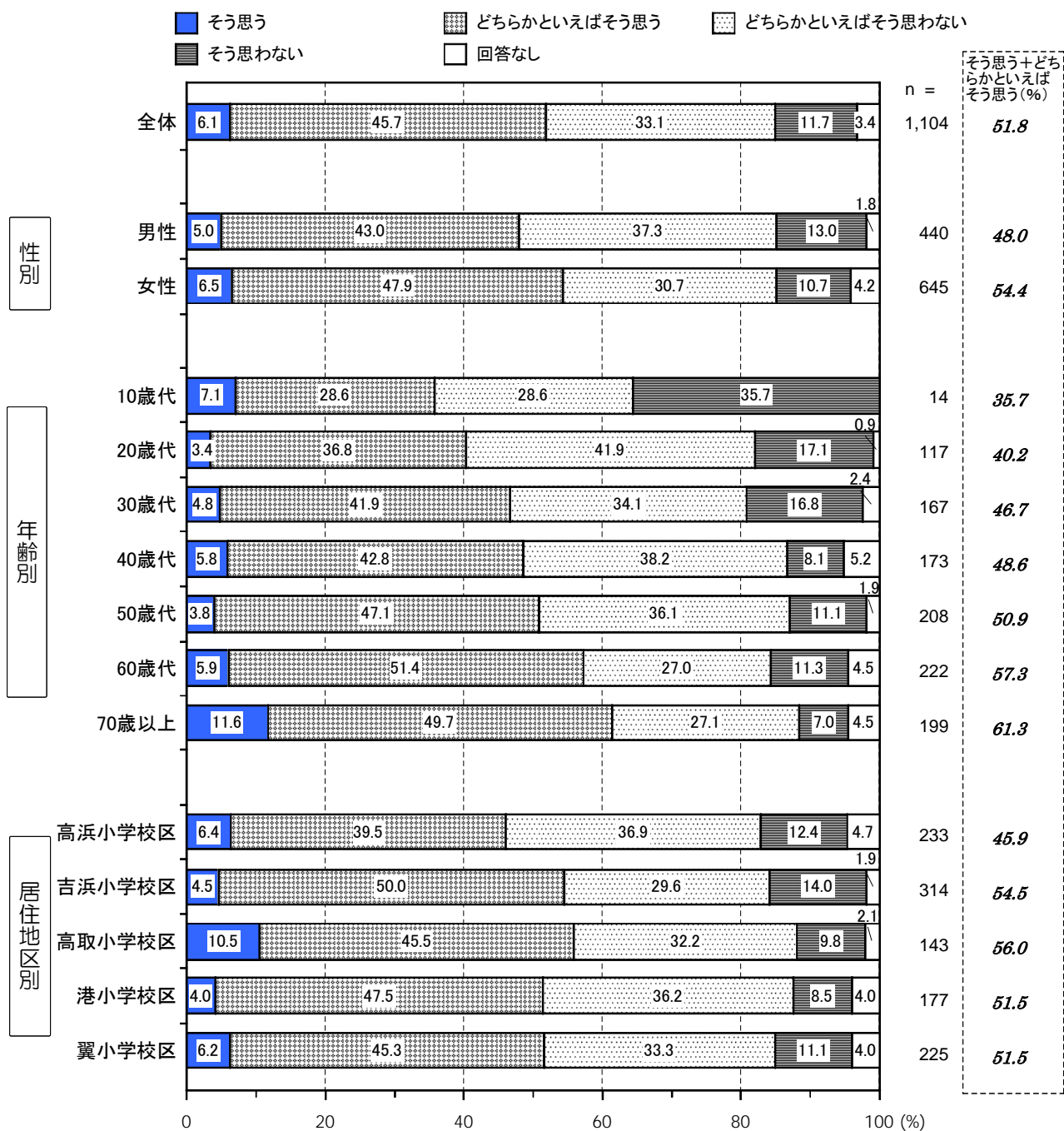
MEMO

(3) 高浜市のまちの状況について（基本計画の目標（施策）について）

1) 市民に関かれ、市民が参画する市政運営が行われているまちだと思う。

「市民に関かれ、市民が参画する市政運営（都市経営）が行われているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が6.1%、「どちらかといえばそう思う」が45.7%であり、あわせて51.8%となっています。

年齢別では、年齢が高くなるにつれ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が高くなっています。



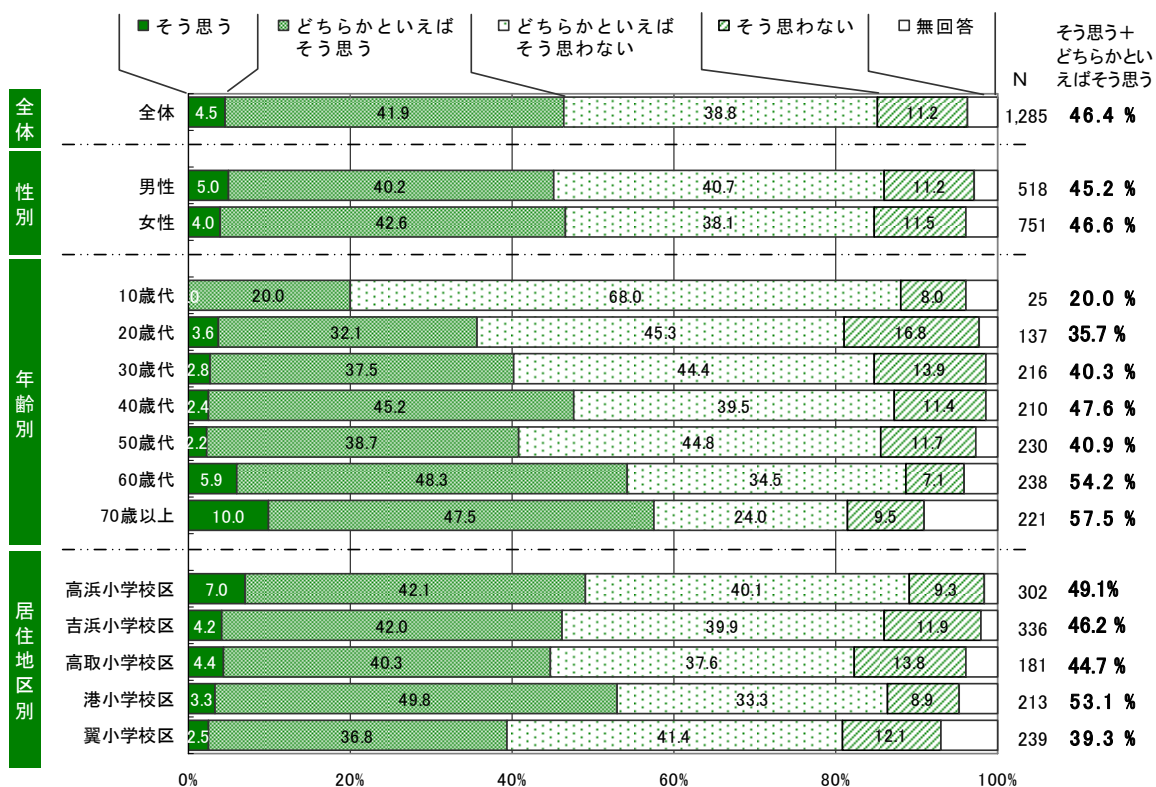
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、全体では46.4%から51.8%にやや高くなり、「どちらかといえばそう思わない」（38.8%⇒33.1%）がやや低くなりました。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、10歳代（20.0%⇒35.7%）及び50歳代（40.9%⇒50.9%）で10ポイントほど高くなっているほか、30歳代（40.3%⇒46.7%）でやや高くなっています。

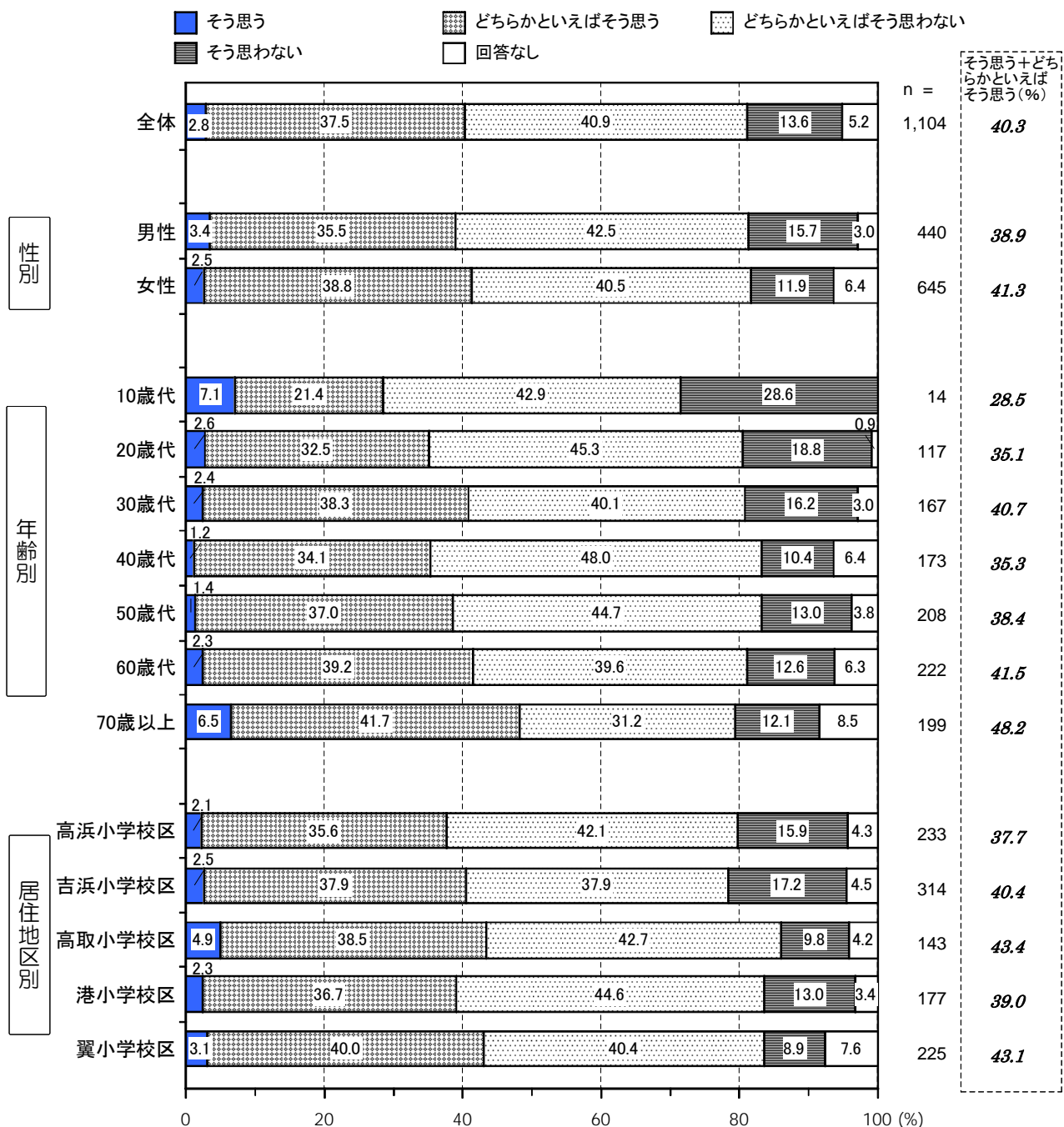
居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、翼小学校区（39.3%⇒51.5%）で10ポイント以上高くなっているほか、吉浜小学校区（46.2%⇒54.5%）でやや高くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》



2) 将来の世代のために、借入金に頼らず健全な財政運営が行われているまちだと思ふ。

「将来の世代のために、借入金に頼らず健全な財政運営が行われているまちだと思ふ」市民の割合は、「そう思ふ」が2.8%、「どちらかといえばそう思ふ」が37.5%であり、あわせて40.3%となっています。



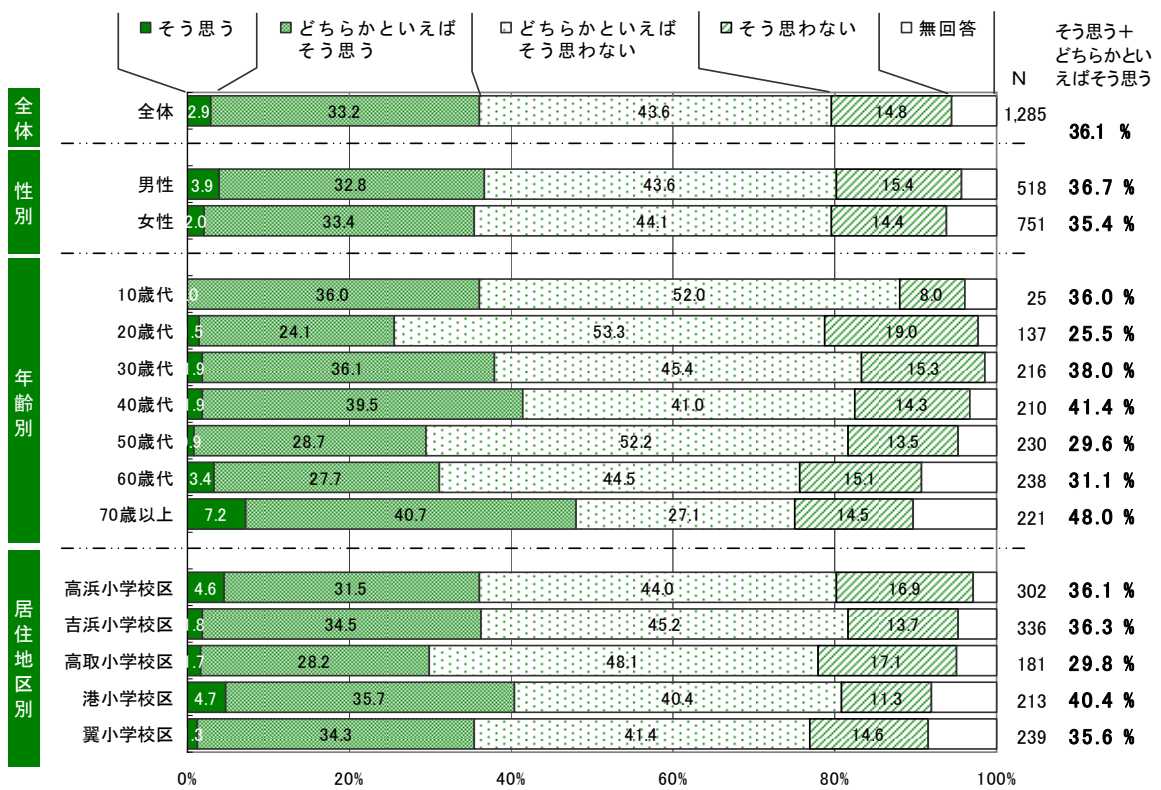
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、60歳代（31.1%⇒41.5%）で10ポイントほど高くなっているほか、20歳代（25.5%⇒35.1%）及び50歳代（29.6%⇒38.4%）でやや高くなっています。一方、10歳代（36.0%⇒28.5%）及び40歳代（41.4%⇒35.3%）ではやや低くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、高取小学校区（29.8%⇒43.4%）で10ポイント以上高くなっているほか、翼小学校区（35.6%⇒43.1%）でもやや高くなっています。

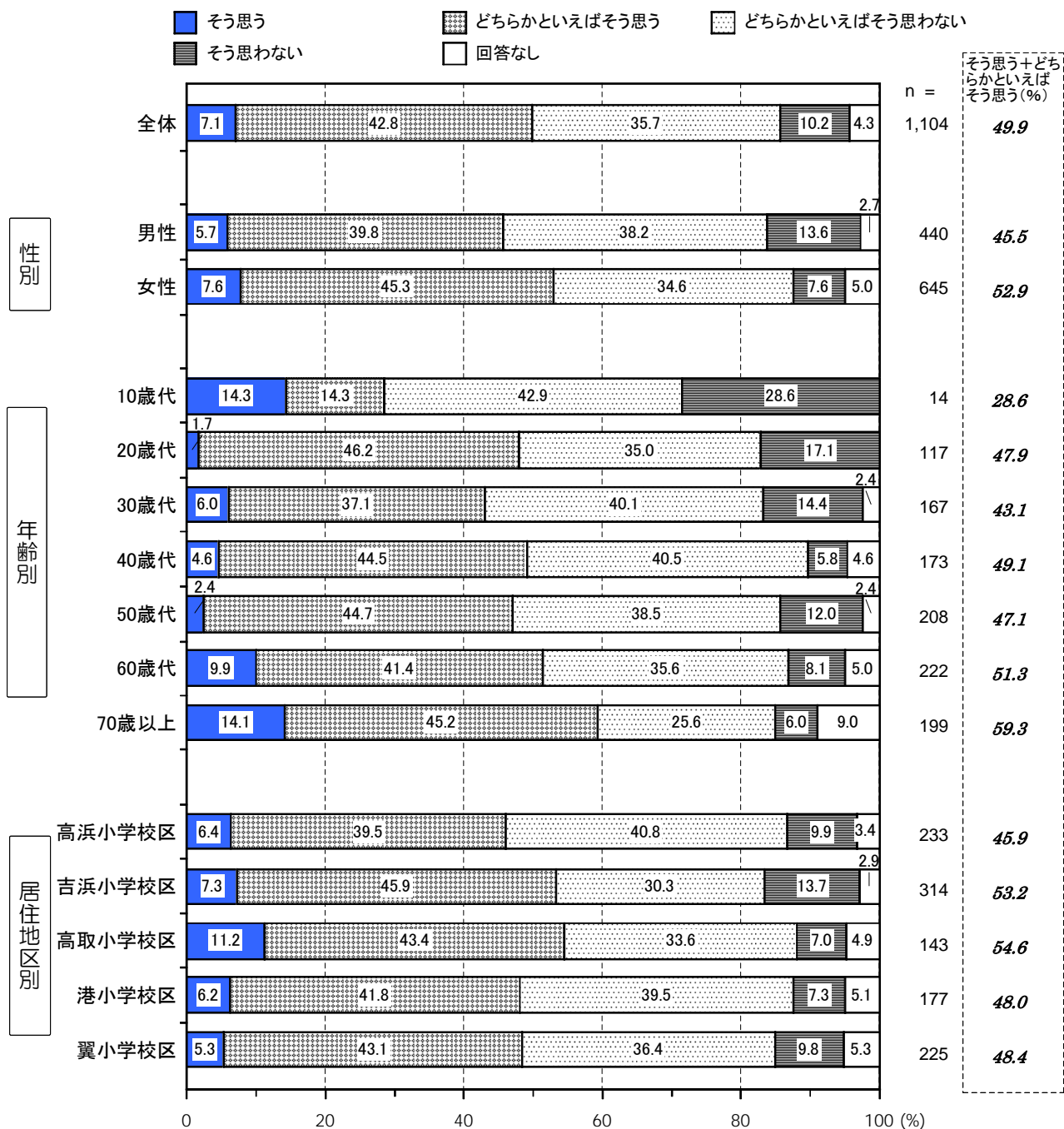
《参考：前回調査の結果（H22年度）》



3) 市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行っていると思う。

「市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行っていると思う」市民の割合は、「そう思う」が7.1%、「どちらかといえばそう思う」が42.8%であり、あわせて49.9%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、70歳以上(59.3%)で全体よりやや高い半面、10歳代(28.6%)で20ポイント以上低く、30歳代(43.1%)でもやや低くなっています。



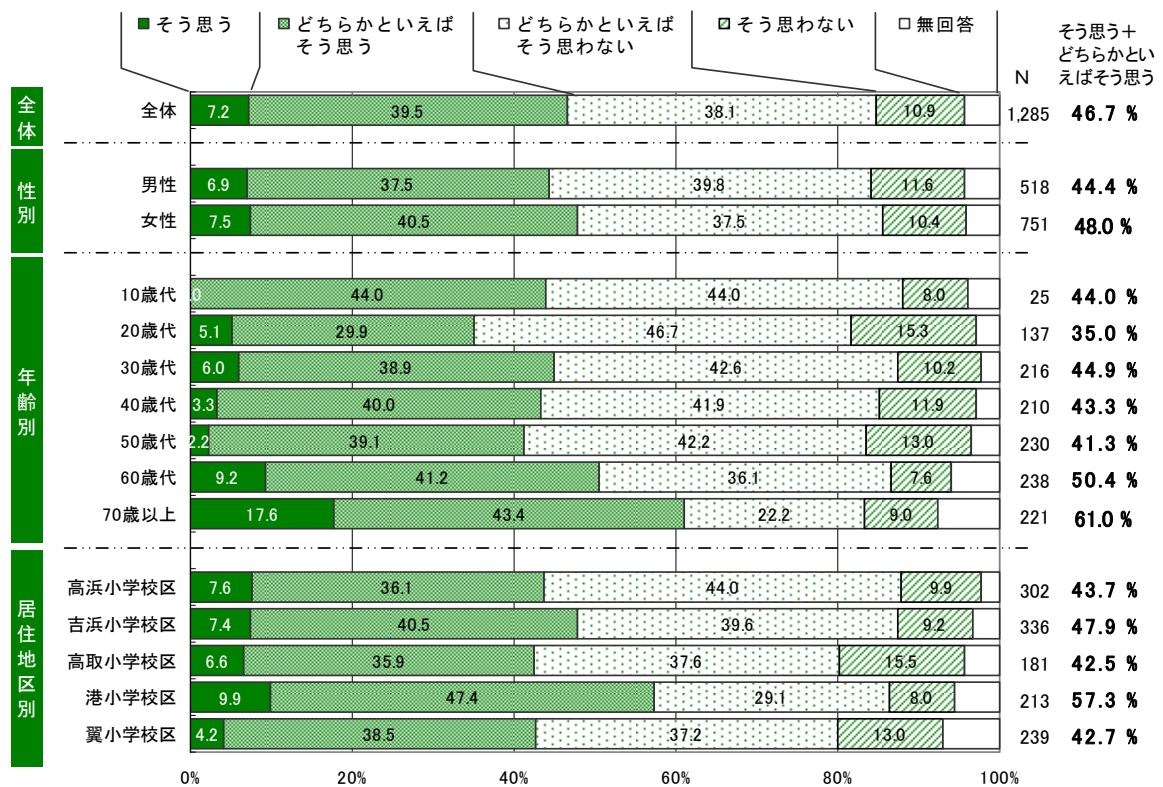
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、20歳代（35.0%⇒47.9%）で10ポイント以上高くなっているほか、40歳代（43.3%⇒49.1%）及び50歳代（41.3%⇒47.1%）でやや高くなっています。一方、10歳代（44.0%⇒28.6%）では約15ポイント低くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、高取小学校区（42.5%⇒54.6%）で10ポイント以上高くなっているほか、吉浜小学校区（47.9%⇒53.2%）及び翼小学校区（42.7%⇒48.4%）でもやや高くなっています。一方、港小学校区（57.3%⇒48.0%）ではやや低くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》

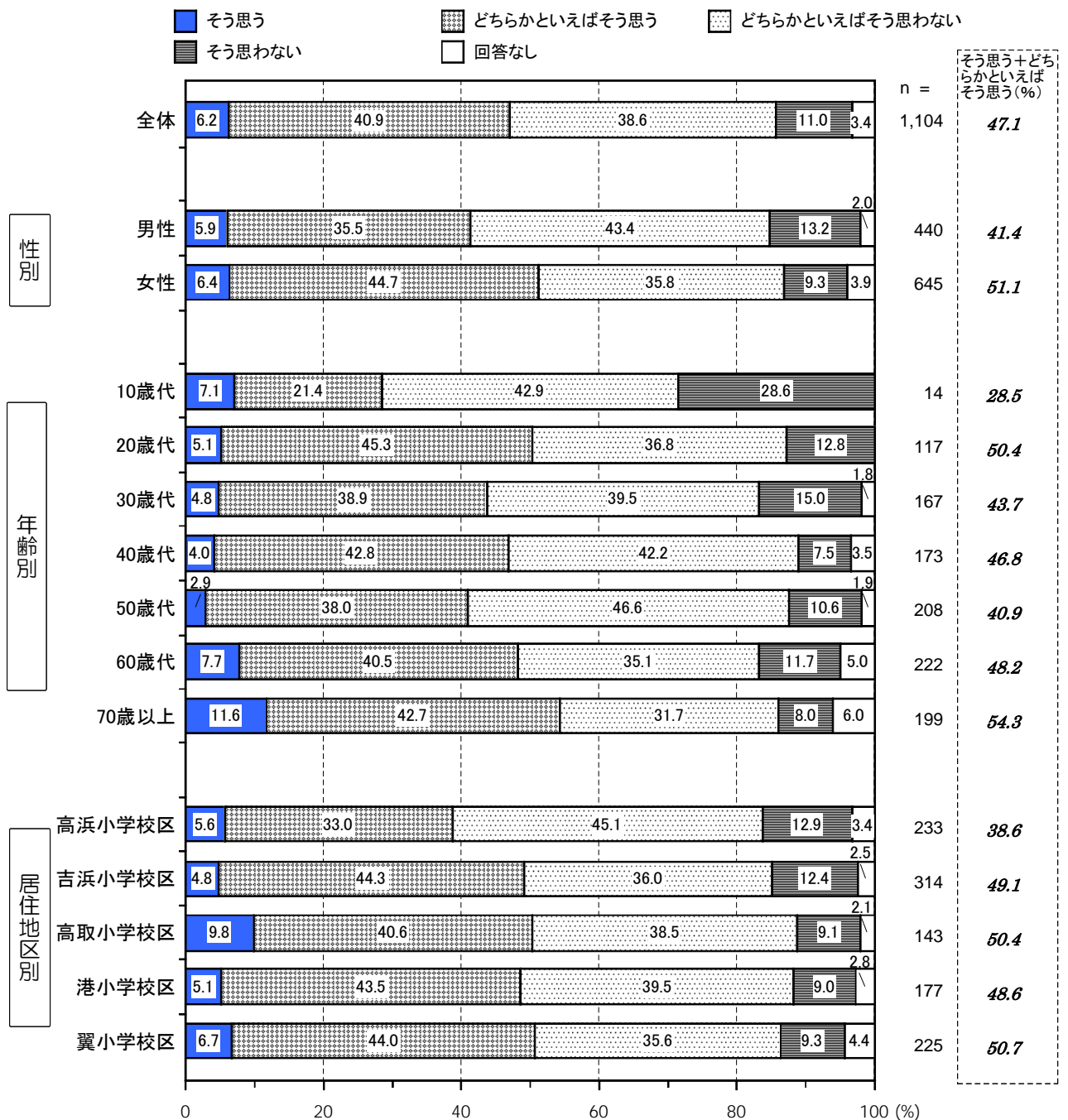


4) 学びを通して人が育ち、夢と希望を持って楽しく暮らせるまちだと思う。

「学びを通して人が育ち、夢と希望を持って楽しく暮らせるまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が6.2%、「どちらかといえばそう思う」が40.9%であり、あわせて47.1%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が70歳以上(54.3%)で全体よりやや高い半面、10歳代(28.5%)では20ポイント近く少なくなっています。

居住地区別では、高浜小学校区(38.6%)が全体よりやや低くなっています。



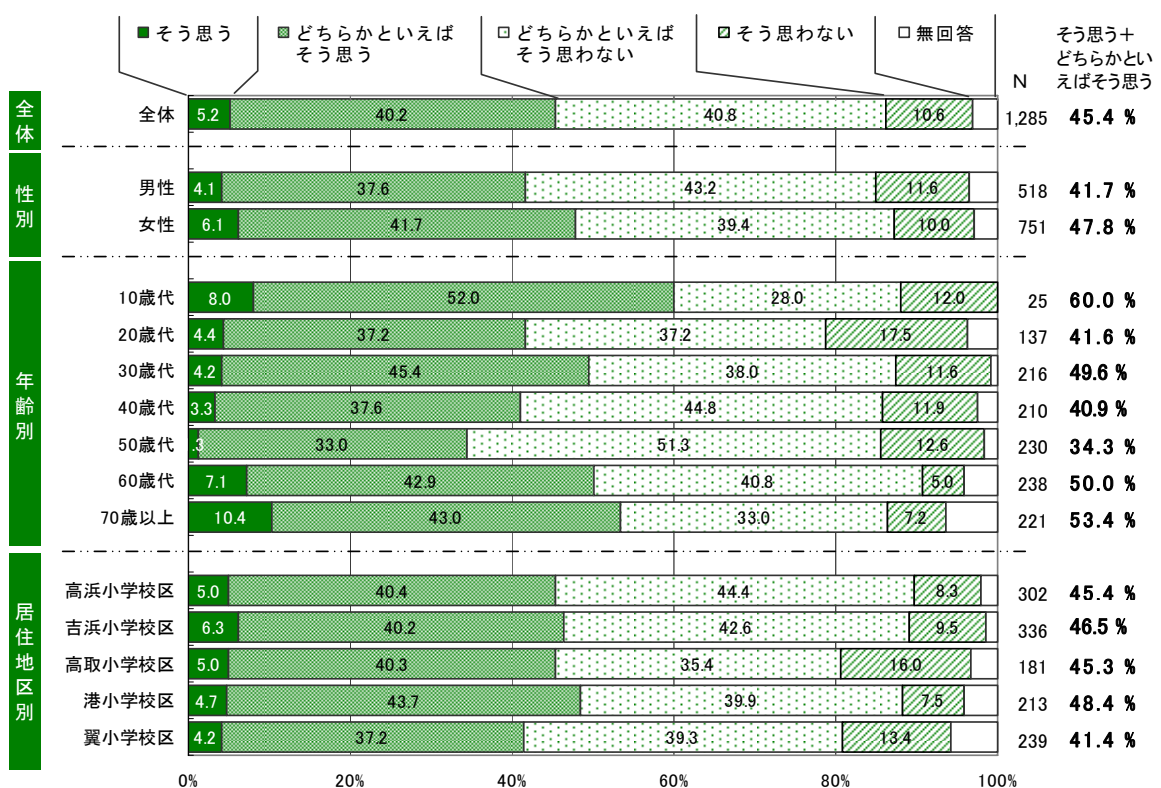
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、20歳代（41.6%⇒50.4%）及び50歳代（34.3%⇒40.9%）、40歳代（40.9%⇒46.8%）でやや高くなっています。一方、10歳代（60.0%⇒28.5%）では30ポイント以上低くなり、30歳代（49.6%⇒43.7%）でもやや低くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、翼小学校区（41.4%⇒50.7%）でやや高くなっている一方、高浜小学校区（45.4%⇒38.6%）ではやや低くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》

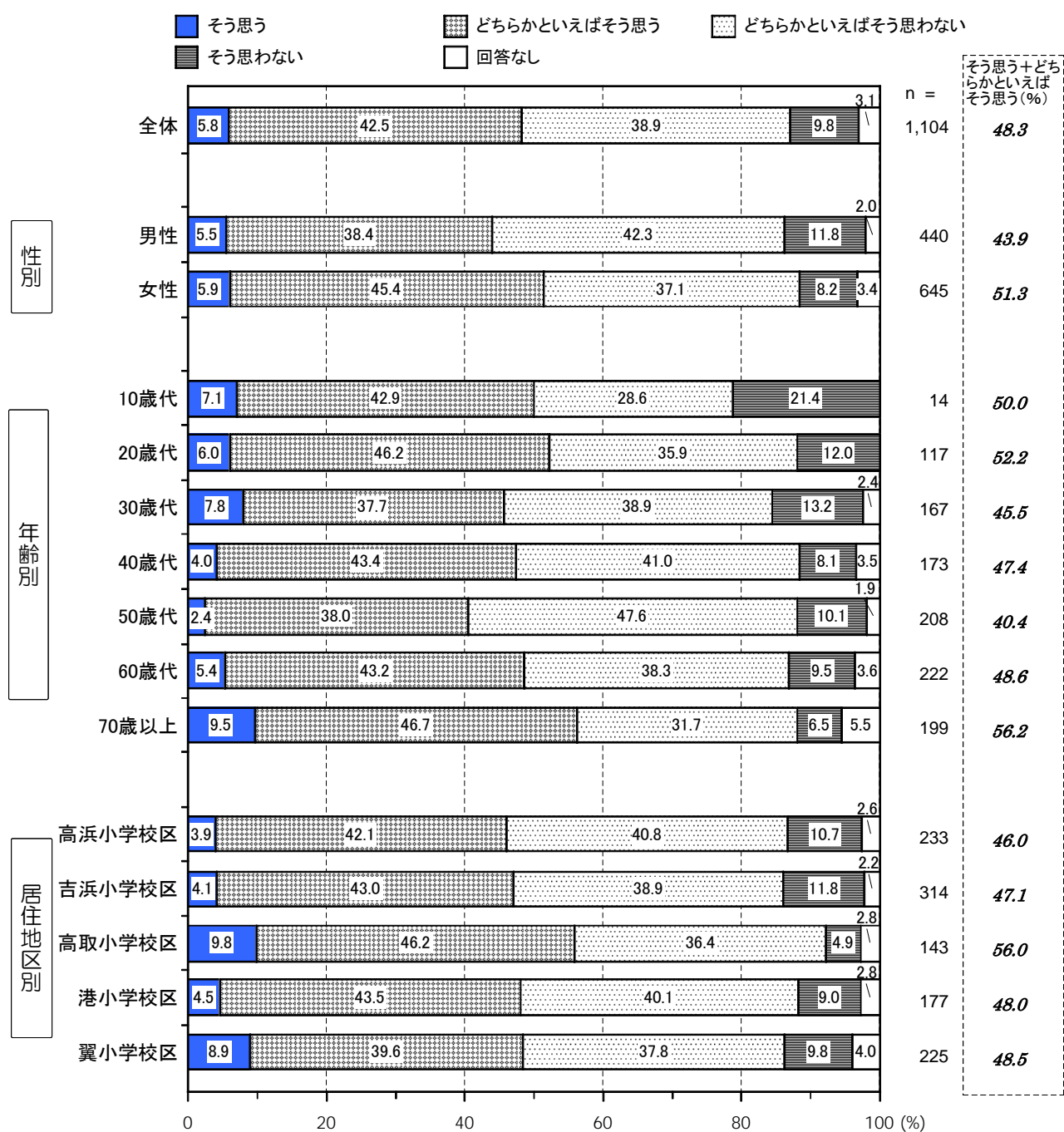


5) 心たくましく健やかに育つ教育環境が整っているまちだと思う。

「心たくましく健やかに育つ教育環境が整っているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が5.8%、「どちらかといえばそう思う」が42.5%であり、あわせて48.3%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が70歳以上(56.2%)ではやや高く、50歳代(40.4%)ではやや低くなっています。

居住地区別では、高取小学校区(56.0%)では全体よりやや高くなっています。



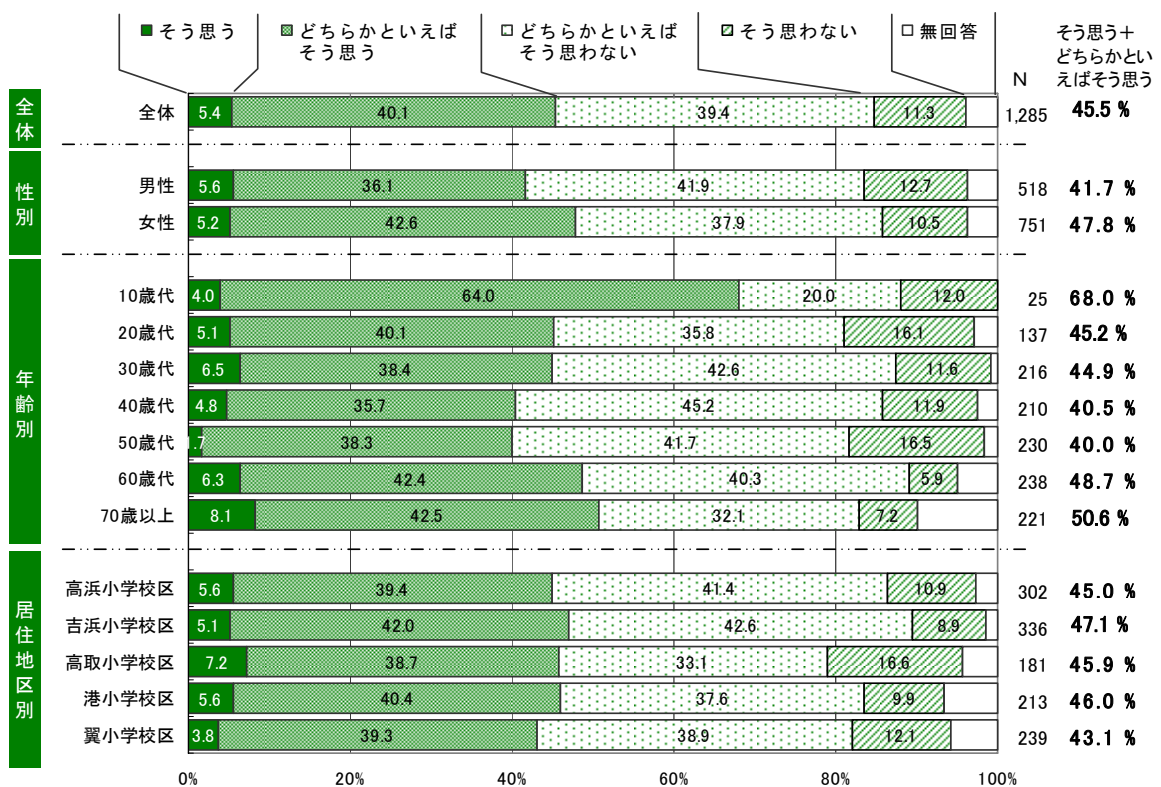
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、40歳代（40.5%⇒47.4%）及び20歳代（45.2%⇒52.2%）、70歳以上（50.6%⇒56.2%）でやや高くなっています。一方、10歳代（68.0%⇒50.0%）では15ポイント以上低くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、高取小学校区（45.9%⇒56.0%）で約10ポイント高くなり、翼小学校区（43.1%⇒48.5%）でもやや高くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》

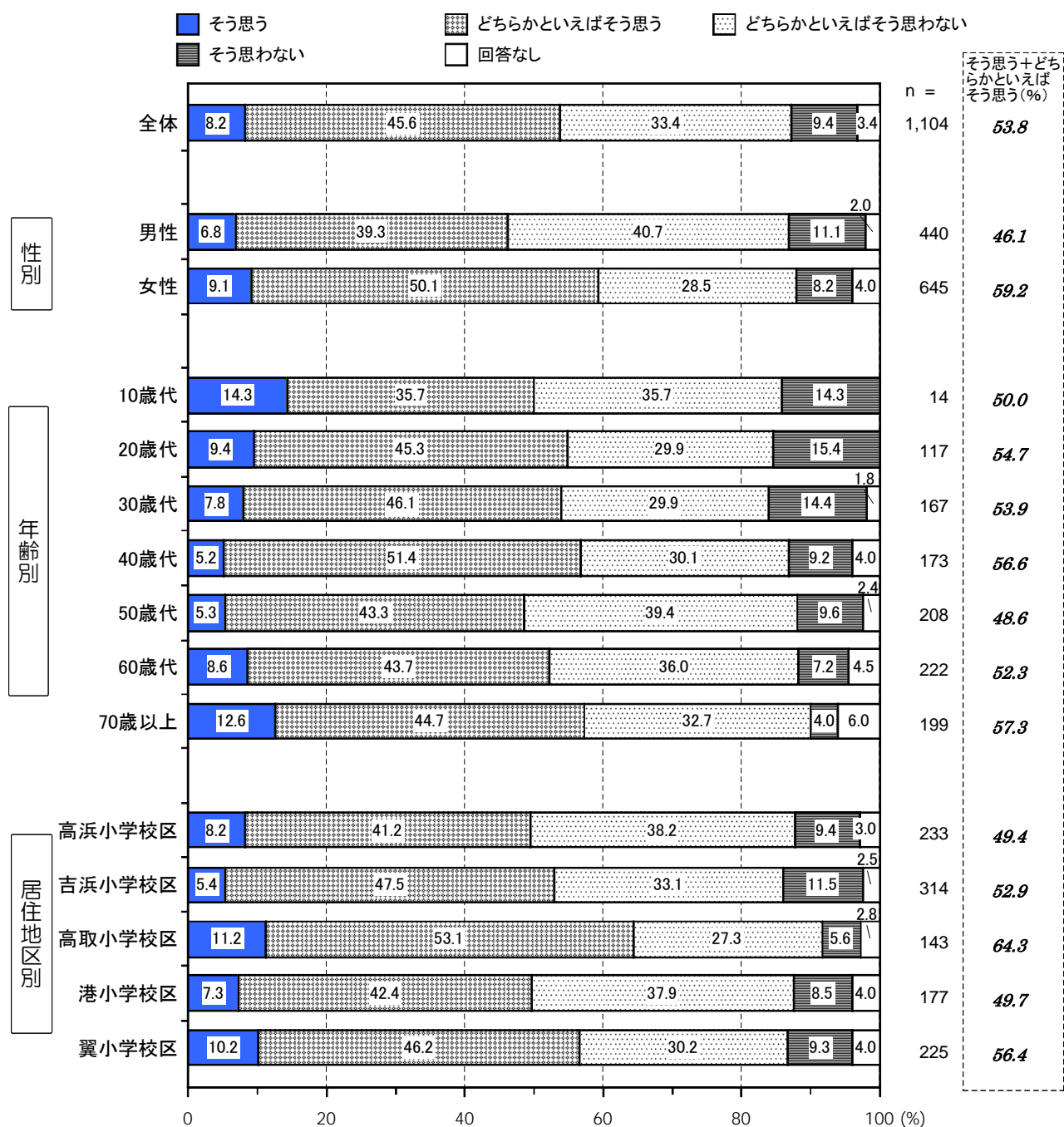


6) 人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えているまちだと思う。

「人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が8.2%、「どちらかといえばそう思う」が45.6%であり、あわせて53.8%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が50歳代(48.6%)では全体よりやや低くなっています。

地区別では、高取小学校区(64.3%)が全体より10ポイントほど高くなっています。



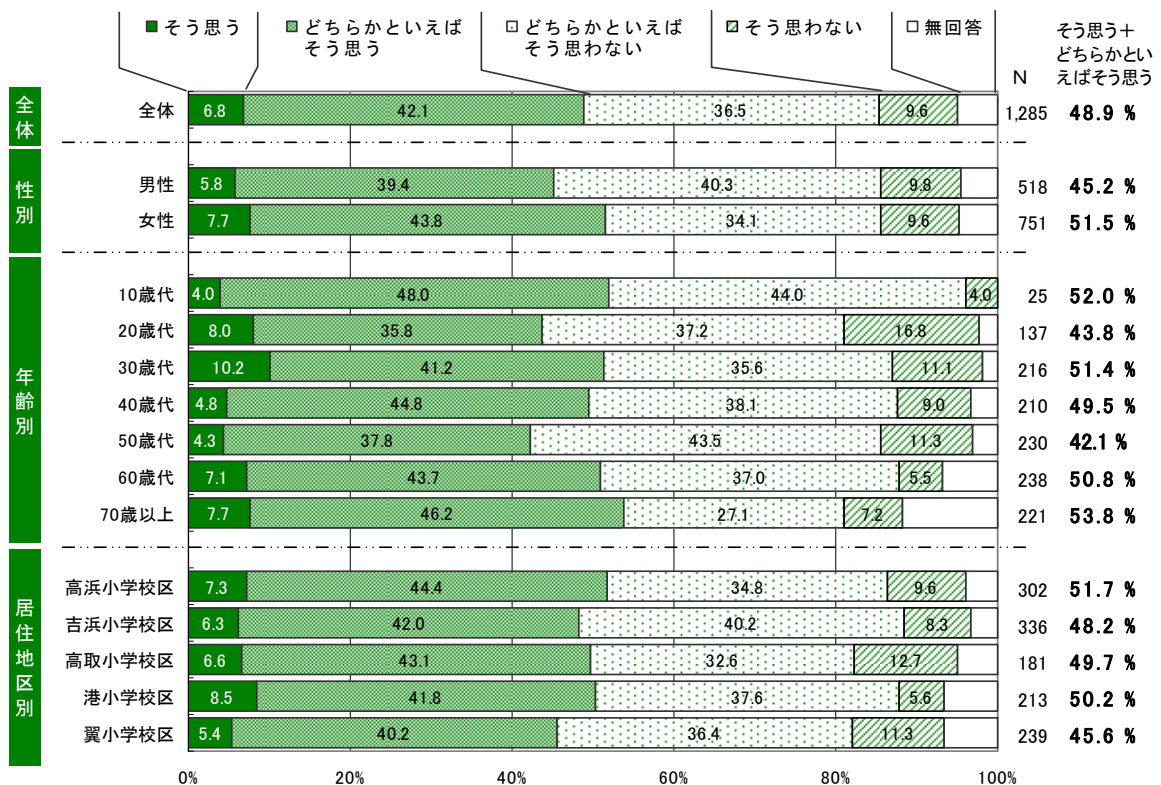
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、20歳代（43.8%⇒54.7%）で、10ポイントほど高くなっているほか、40歳代（49.5%⇒56.6%）、50歳代（42.1%⇒48.6%）でやや高くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、高取小学校区（49.7%⇒64.3%）及び翼小学校区（45.6%⇒56.4%）で10ポイント以上高くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》

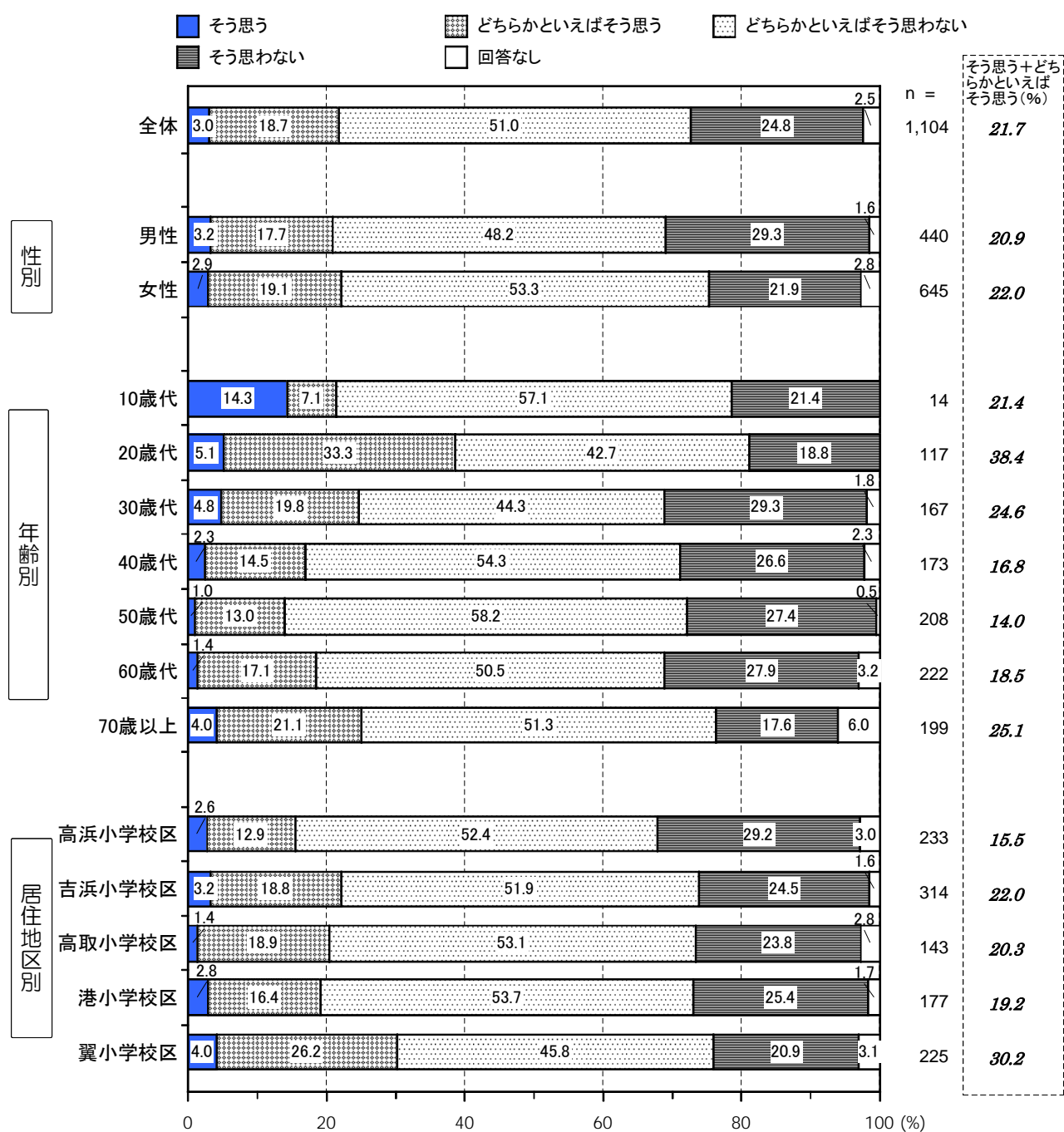


7) まちの成長を支えるエンジンとして、産業が元気なまちだと思う。

「まちの成長を支えるエンジンとして、産業が元気なまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が3.0%、「どちらかといえばそう思う」が18.7%であり、あわせて21.7%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、20歳代(38.4%)で全体より15ポイント以上高い半面、50歳代(14.0%)ではやや低くなっています。

地区別では、翼小学校区(30.2%)では全体よりやや高く、高浜小学校区(15.5%)でやや低くなっています。



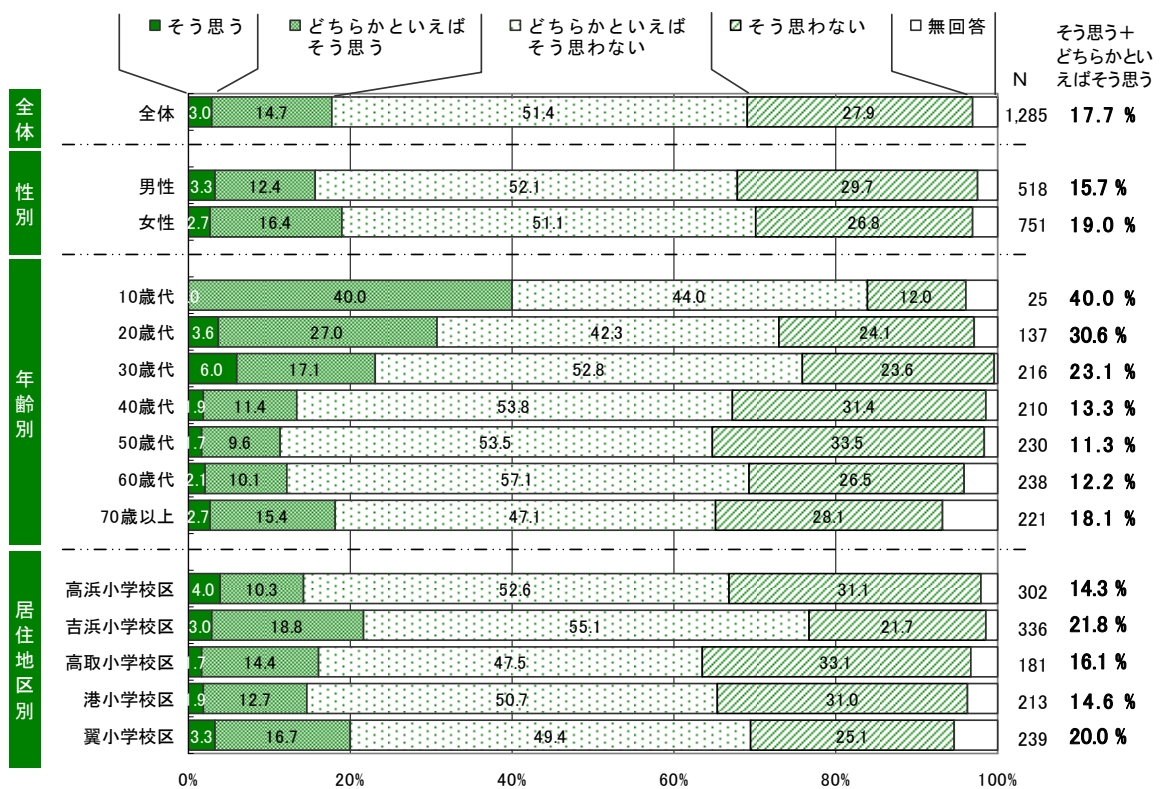
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、20歳代（30.6%⇒38.4%）及び70歳以上（18.1%⇒25.1%）、60歳代（12.2%⇒18.5%）でやや高くなっています。一方、10歳代（40.0%⇒21.4%）では20ポイント近く低くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、翼小学校区（20.0%⇒30.2%）で10ポイント以上高くなっています。

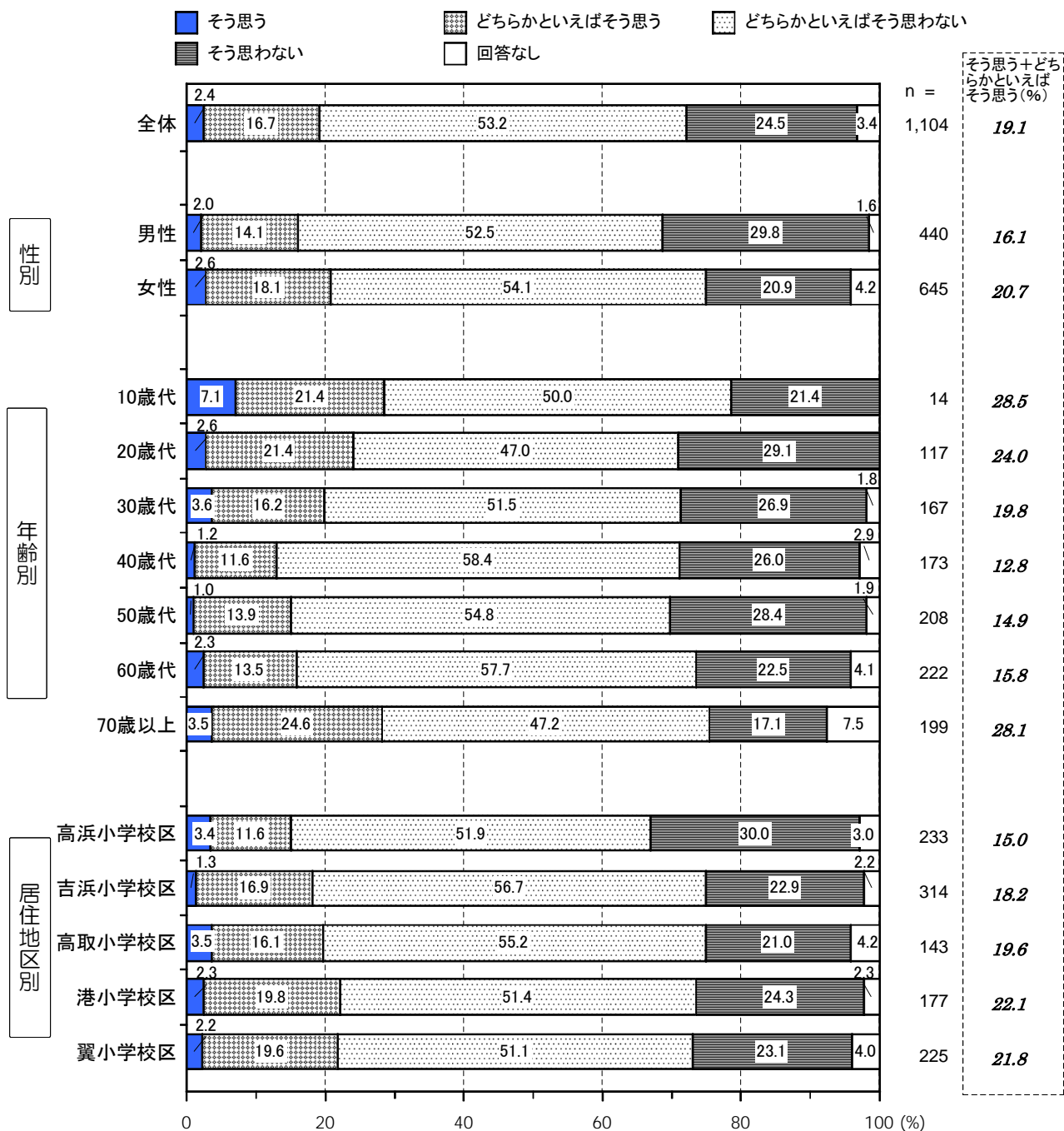
《参考：前回調査の結果（H22年度）》



8) 地域に根ざした新たなビジネスの芽を育んでいるまちだと思う。

「地域に根ざした新たなビジネスの芽を育んでいるまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が2.4%、「どちらかといえばそう思う」が16.7%であり、あわせて19.1%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、10歳代(28.5%)及び70歳以上(28.1%)では全体に比べやや高くなっています。



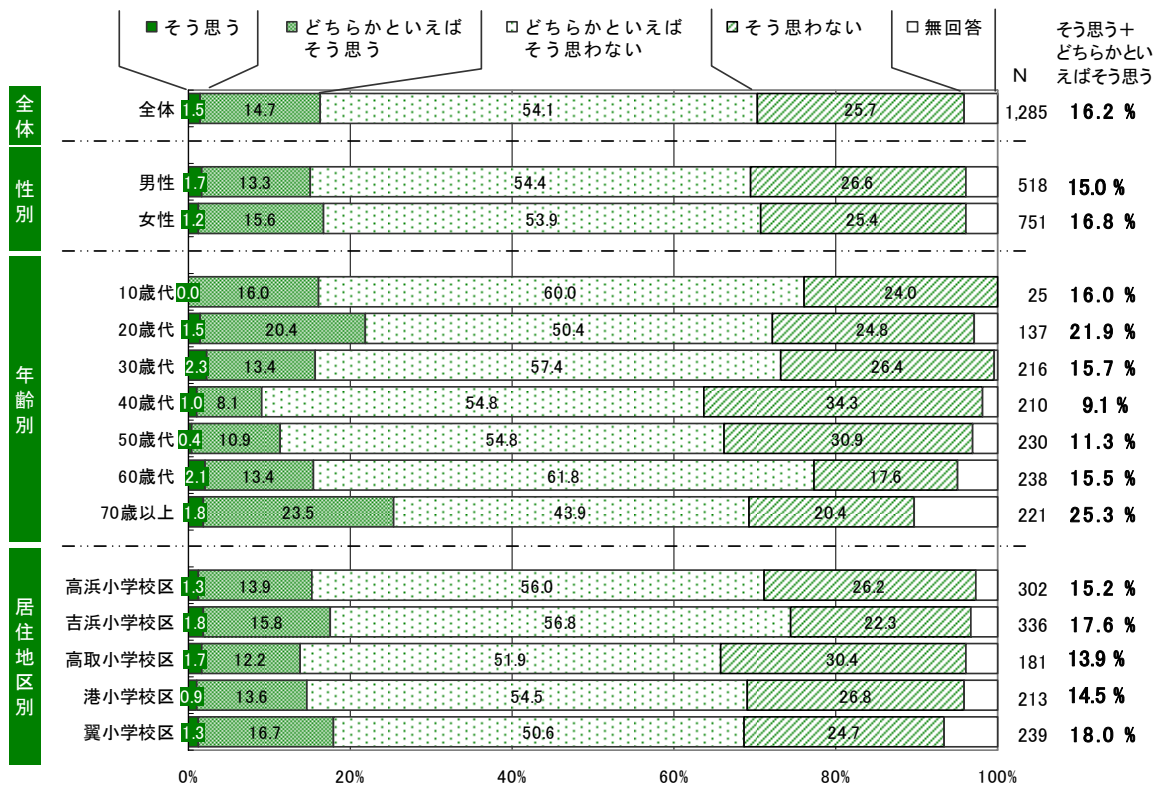
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、10歳代（16.0%⇒28.5%）で10ポイント以上高くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、港小学校区（14.5%⇒22.1%）及び高取小学校区（13.9%⇒19.6%）でやや高くなっています。

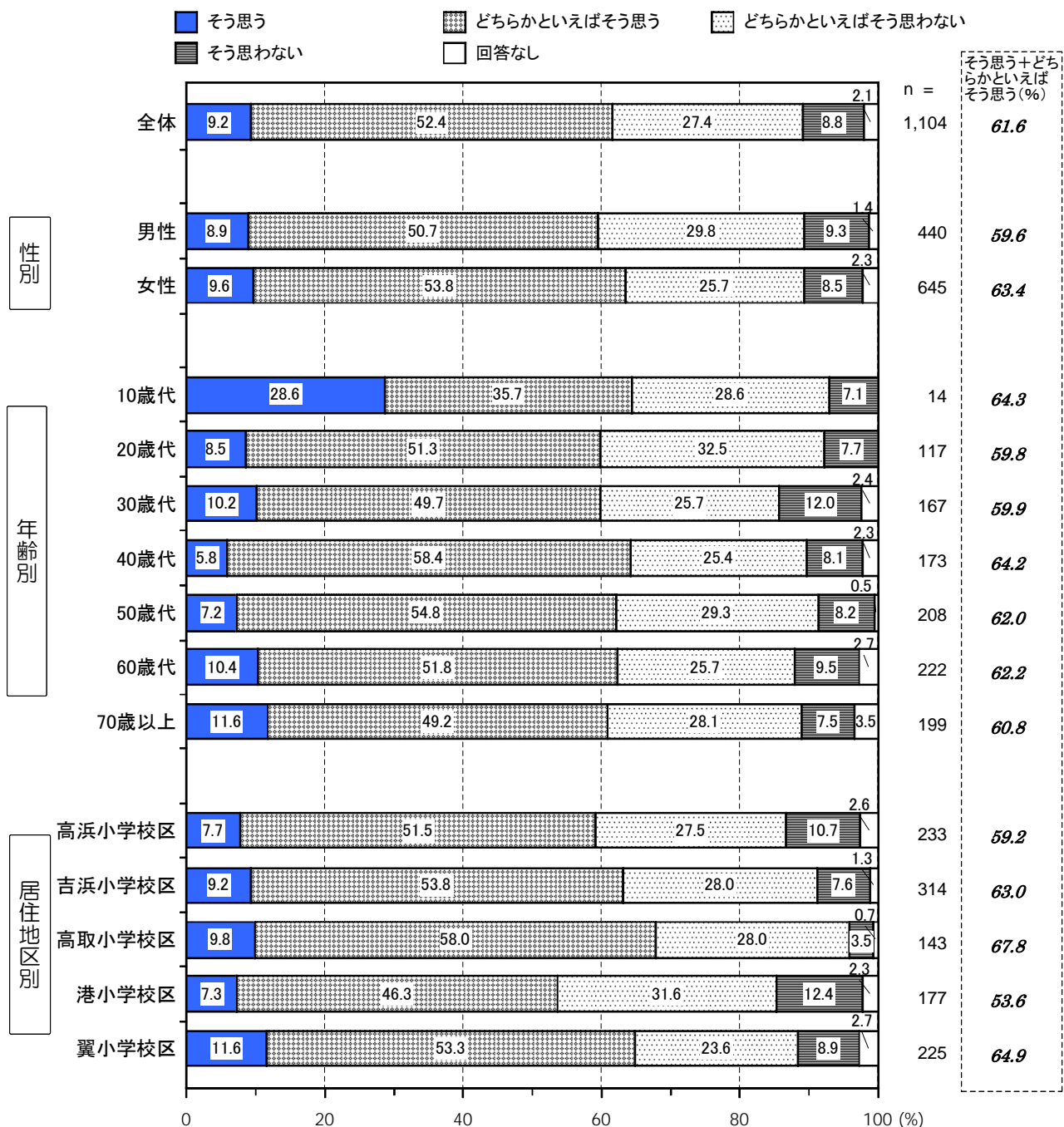
《参考：前回調査の結果（H22年度）》



9) みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う。

「みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が9.2%、「どちらかといえばそう思う」が52.4%であり、あわせて61.6%となっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、高取小学校区(67.8%)でやや高くなっています。



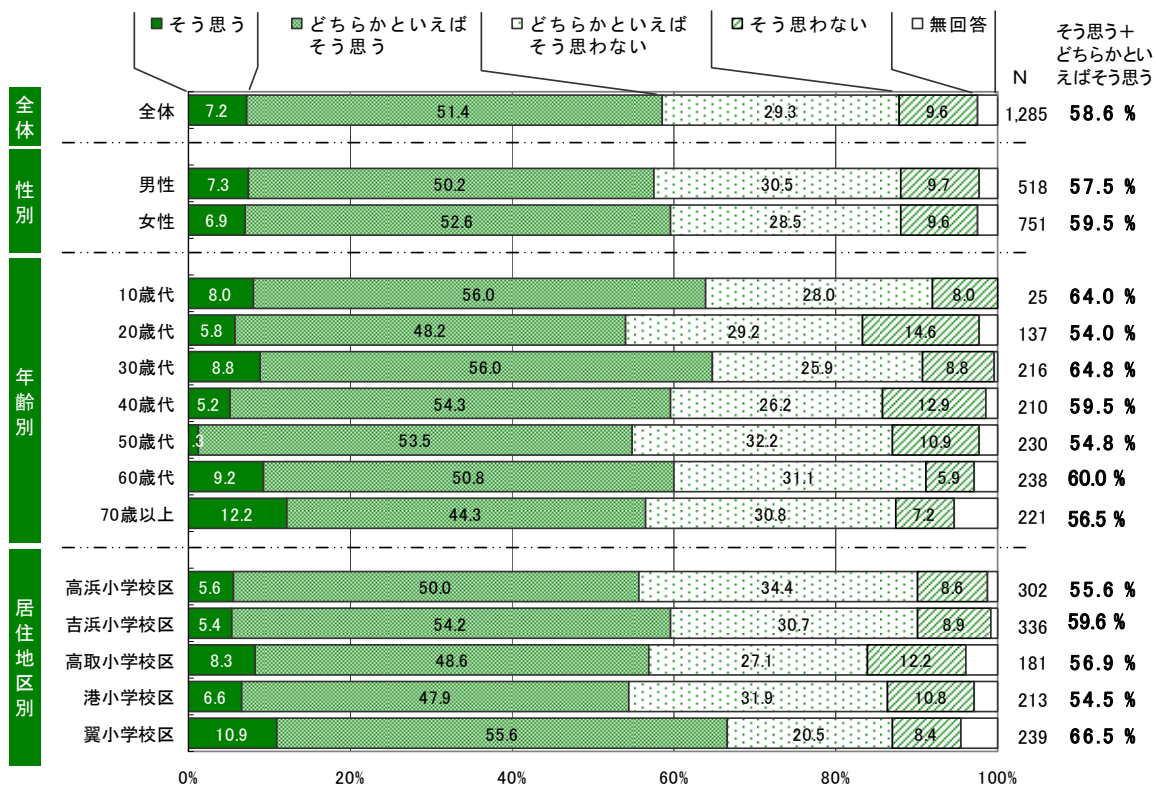
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、50歳代（54.8%⇒62.0%）及び20歳代（54.0%⇒59.8%）で、やや高くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、高取小学校区（56.9%⇒67.8%）で10ポイント以上高くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》

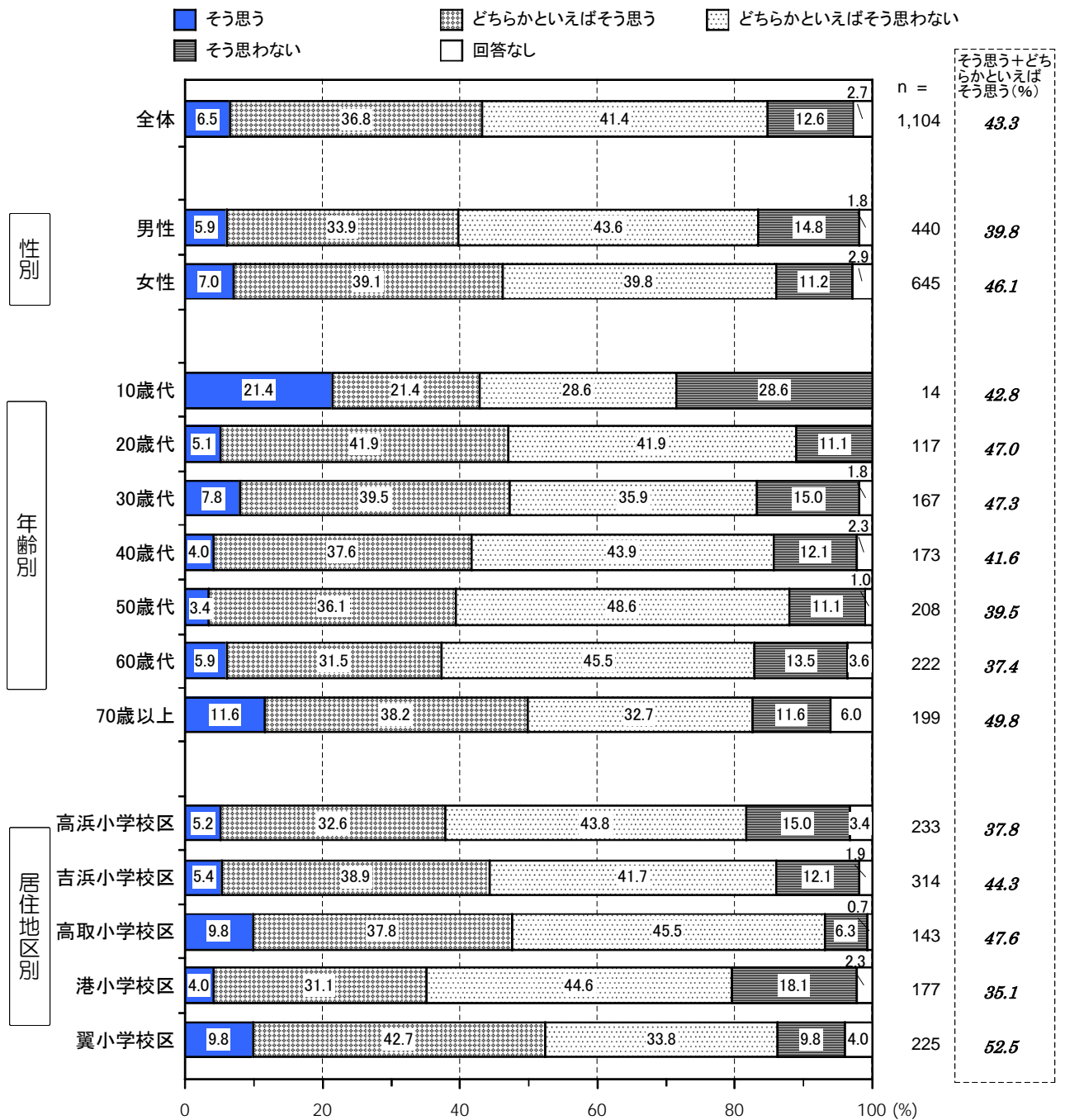


10) 調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思ふ。

「調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思ふ」市民の割合は、「そう思ふ」が6.5%、「どちらかといえばそう思ふ」が36.8%であり、あわせて43.3%となっています。

年齢別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」をあわせると、70歳以上(49.8%)で全体よりやや高く、60歳代(37.4%)でやや低くなっています。

居住地区別では、翼小学校区(52.5%)と高取小学校区(47.6%)で全体よりやや高く、港小学校区(35.1%)及び高浜小学校区(37.8%)でやや低くなっています。



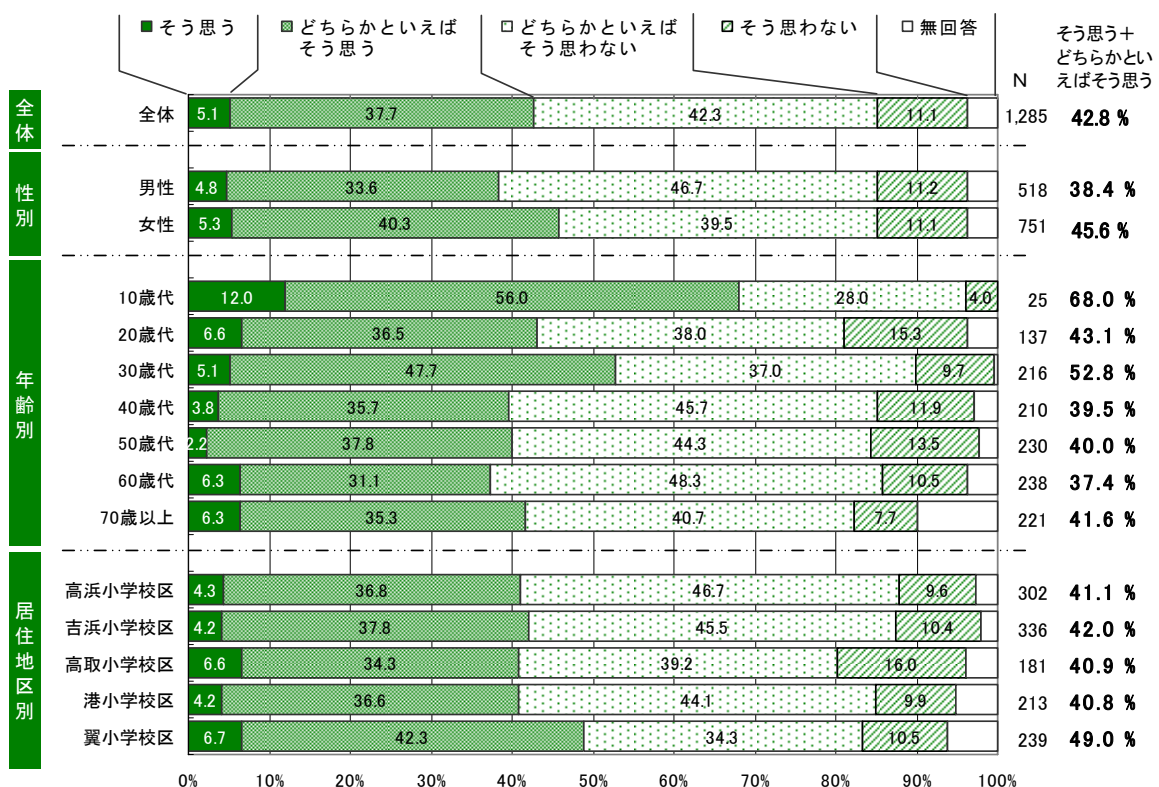
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、70歳以上（41.6%⇒49.8%）でやや高くなった反面、10歳代（68.0%⇒42.8%）で25ポイント以上低く、30歳代（52.8%⇒47.3%）でもやや低くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、高取小学校区（40.9%⇒47.6%）でやや高く、港小学校区（40.8%⇒35.1%）でやや低くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》

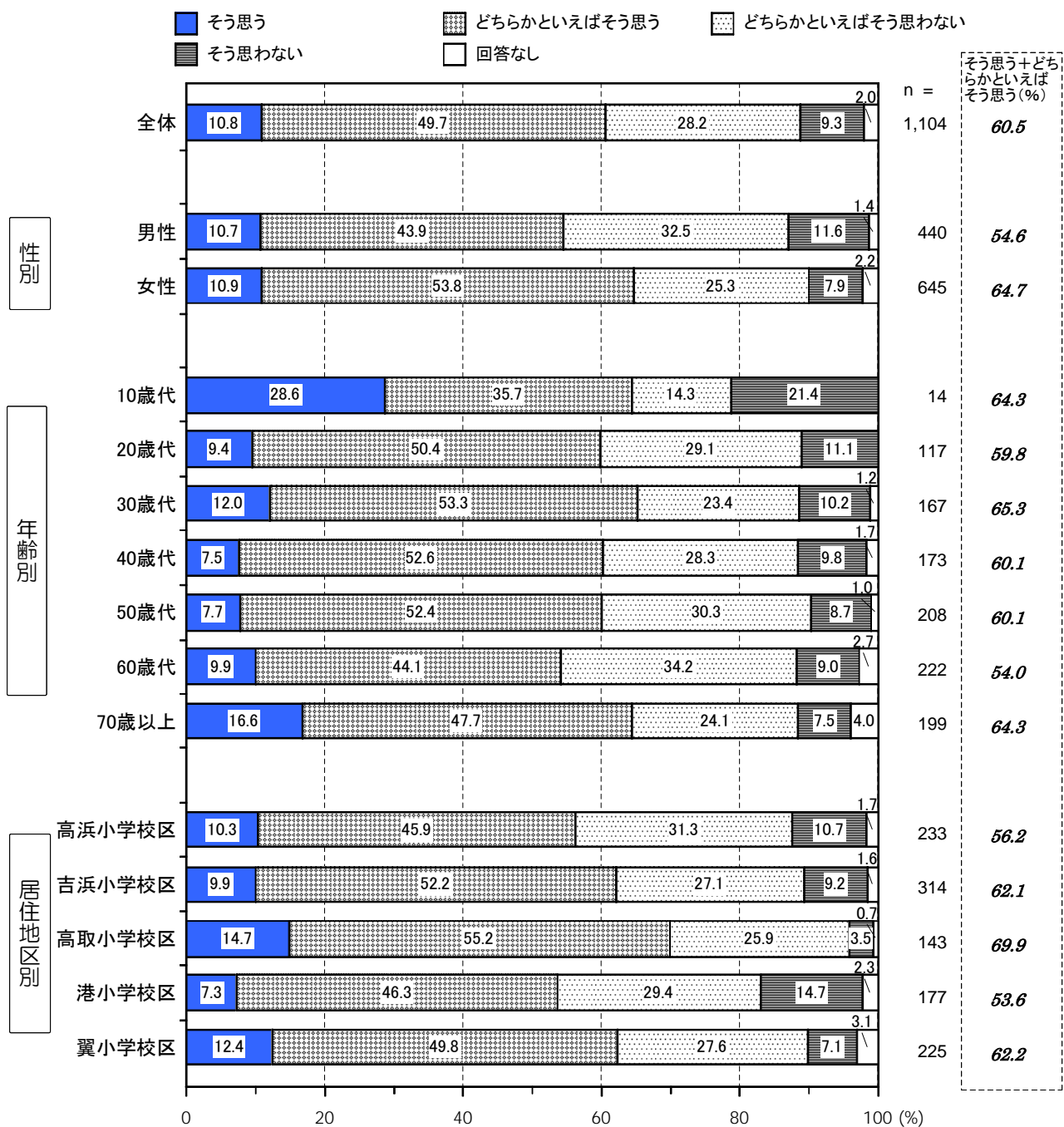


11) 公園・緑地や水辺など、自然豊かな魅力あふれる憩いの場を守り、育てているまちだと思う。

「公園・緑地や水辺など自然豊かな魅力あふれる憩いの場を守り、育てているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が10.8%、「どちらかといえばそう思う」が49.7%であり、あわせて60.5%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、60歳代(54.0%)が全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、高取小学校区(69.9%)で全体よりやや高く、港小学校区(53.6%)でやや低くなっています。



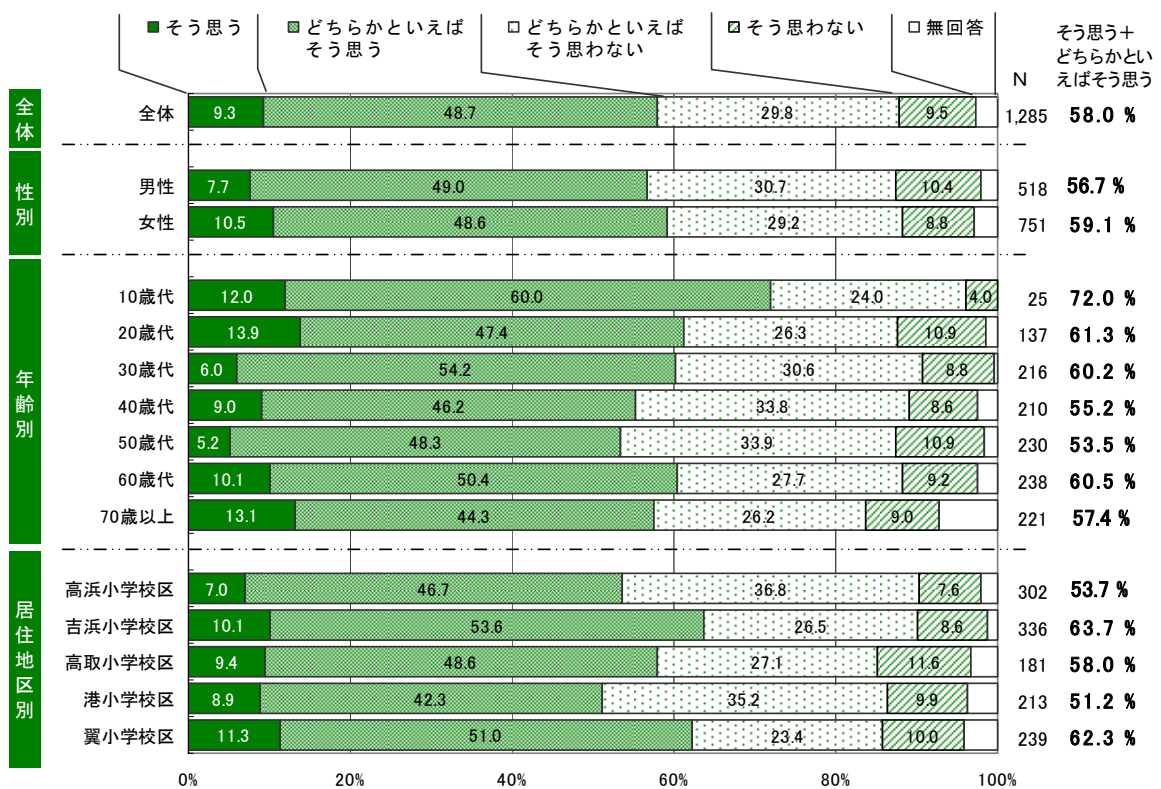
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、70歳以上（57.4%⇒64.3%）、50歳代（53.5%⇒60.1%）、30歳代（60.2%⇒65.3%）でやや高くなった半面、10歳代（72.0%⇒64.3%）及び60歳代（60.5%⇒54.0%）でやや低くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、高取小学校区（58.0%⇒69.9%）で10ポイント以上高くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》

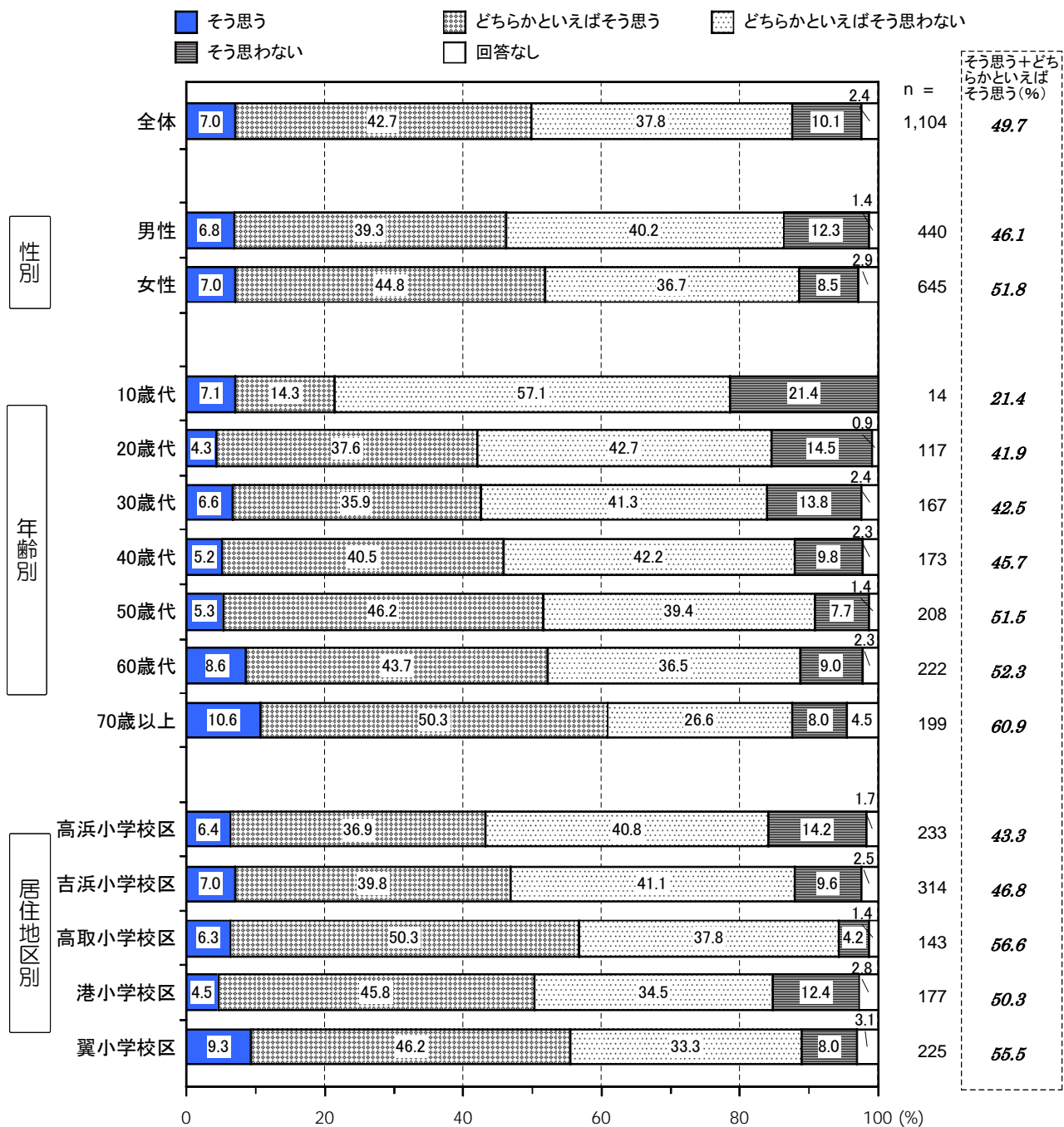


12) 安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思う。

「安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が7.0%、「どちらかといえばそう思う」が42.7%であり、あわせて49.7%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、70歳以上(60.9%)が全体より10ポイントほど高く、10歳代(21.4%)が約30ポイント低くなっています。

居住地区別では、高取小学校区(56.6%)、翼小学校区(55.5%)で全体よりやや高くなっています。



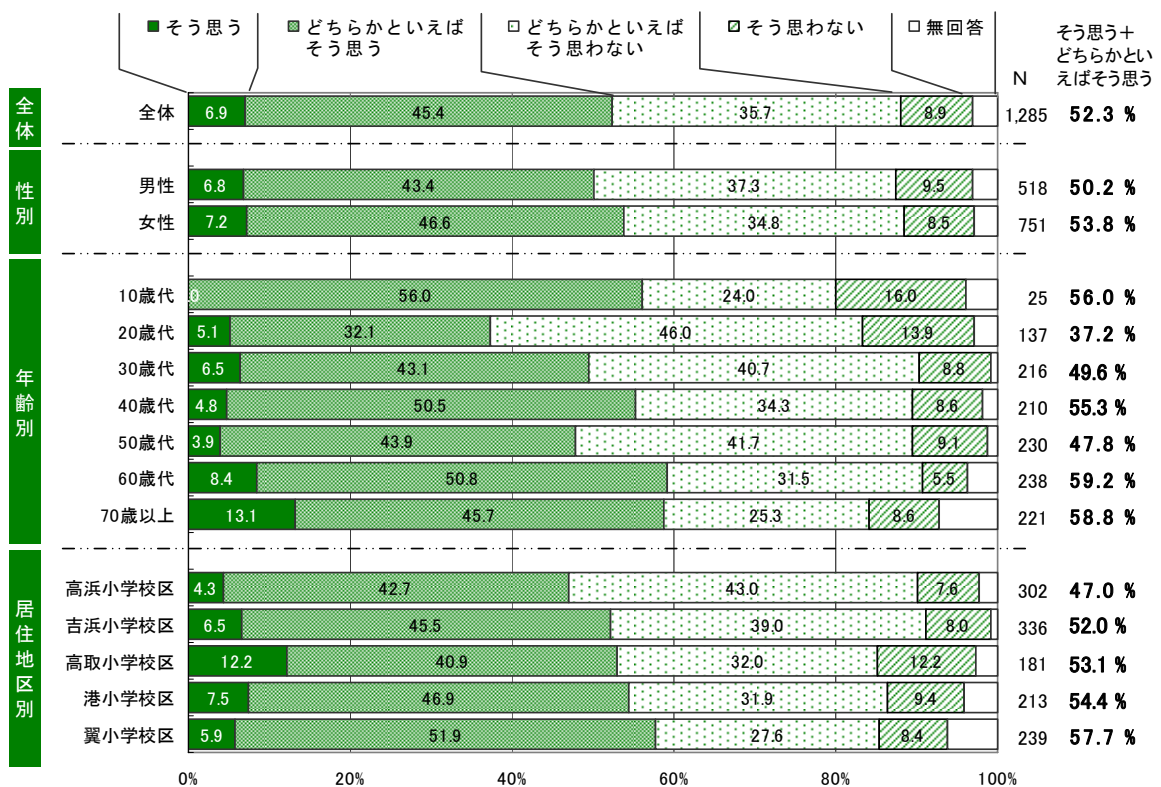
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、10歳代（56.0%⇒21.4%）で30ポイント以上低くなっているほか、40歳代（55.3%⇒45.7%）、30歳代（49.5%⇒42.5%）、60歳代（59.2%⇒52.3%）でやや低くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、吉浜小学校区（52.0%⇒46.8%）でやや低くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》

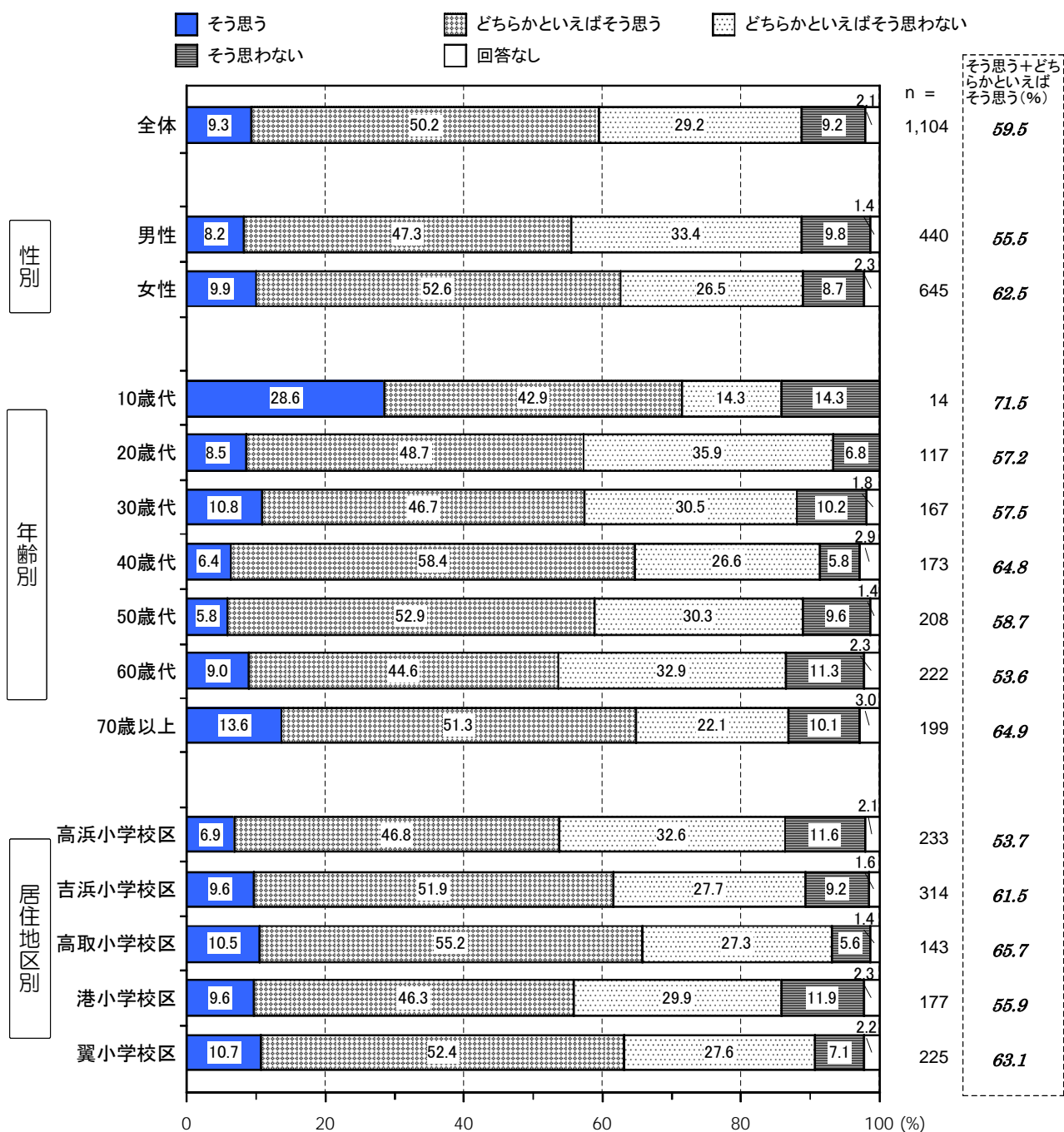


13) 一人ひとりを認め合い、高齢者や障がい者などがいきいき暮らすことができるまちだと思う。

「一人ひとりを認め合い、高齢者や障がい者などがいきいき暮らすことができるまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が9.3%、「どちらかといえばそう思う」が50.2%であり、あわせて59.5%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、10歳代(71.5%)で全体より10ポイント以上高く、70歳以上(64.9%)や40歳代(64.8%)でもやや高くなっています。

居住地区別では、高取小学校区(65.7%)で全体よりやや高く、高浜小学校区(53.7%)でやや低くなっています。



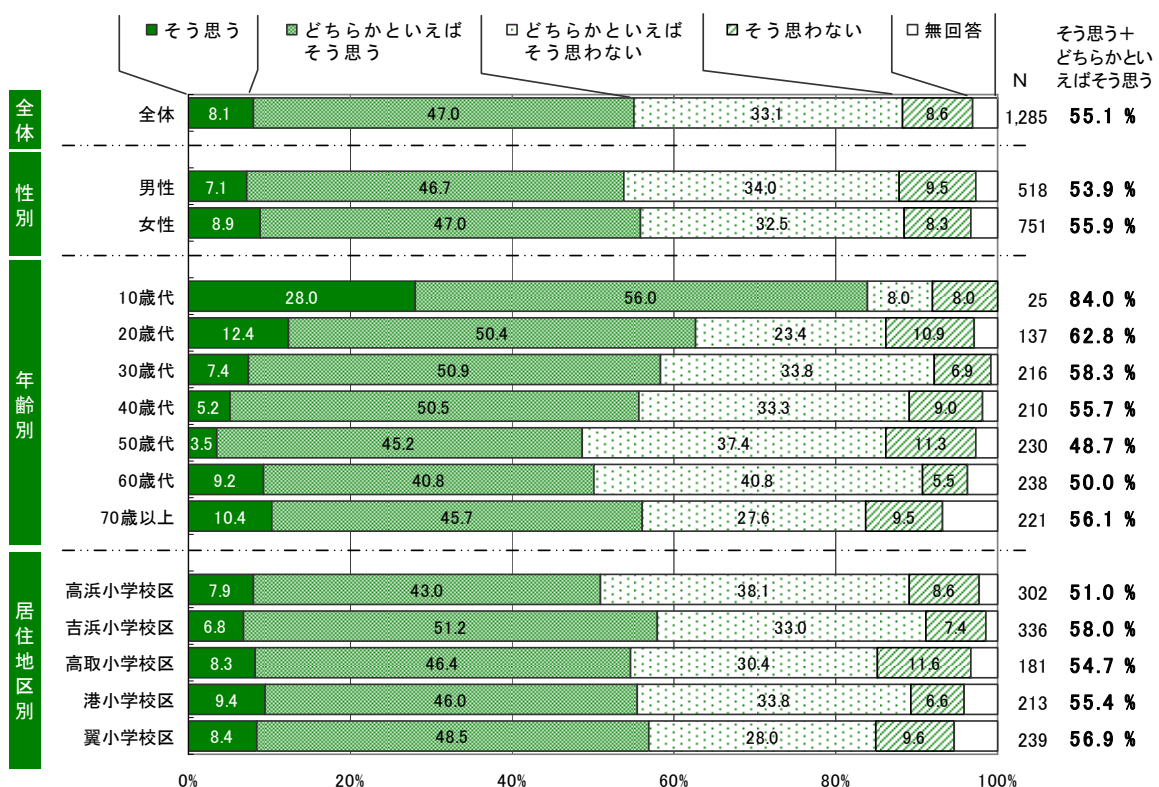
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、50歳代（48.7%⇒58.7%）で10ポイント高く、40歳代（55.7%⇒64.8%）、70歳以上（56.1%⇒64.9%）でもやや高くなっています。一方、10歳代（84.0%⇒71.5%）では10ポイント以上低くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、高取小学校区（54.7%⇒65.7%）でやや高くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》

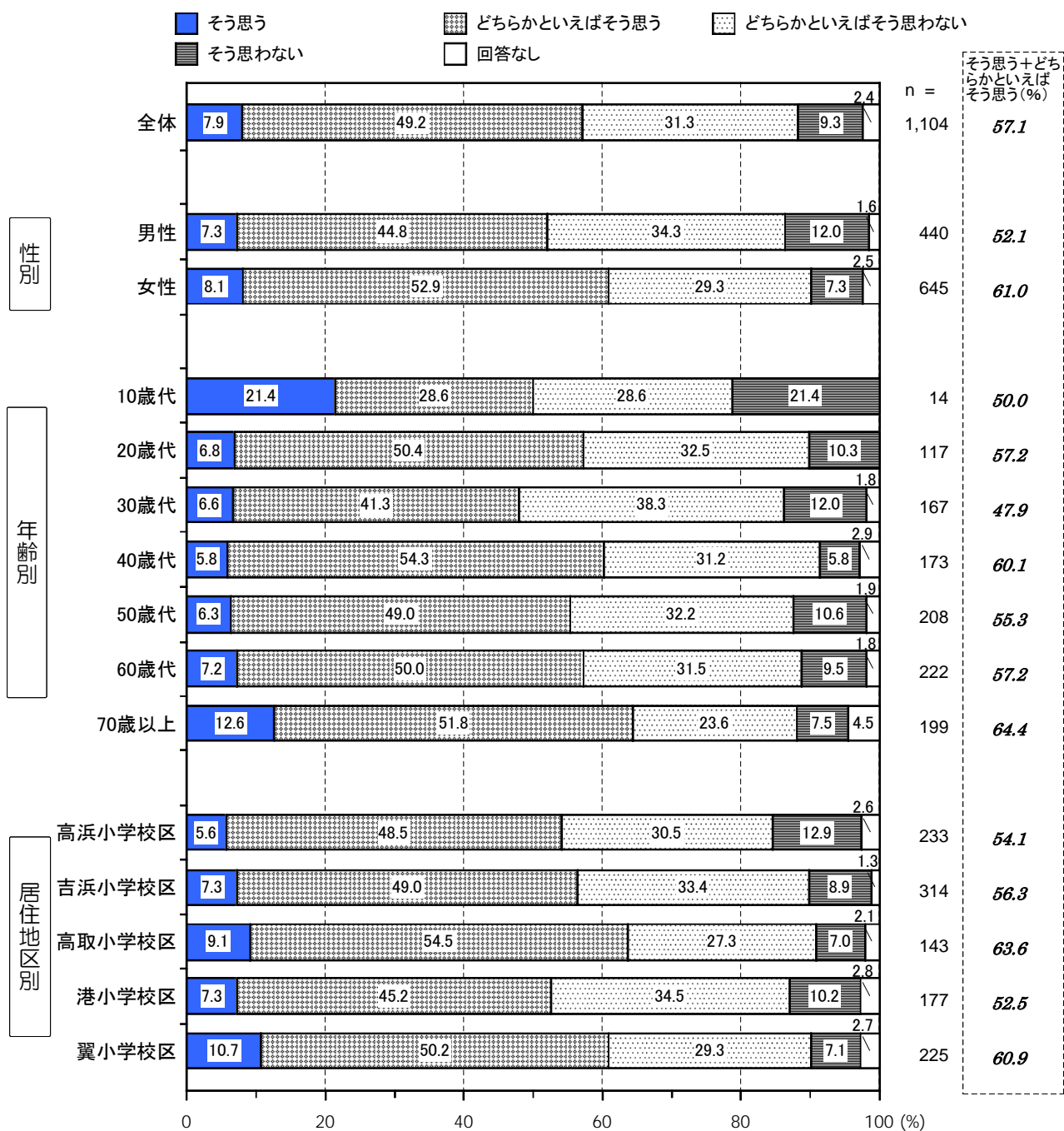


14) 一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思う。

「一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が7.9%、「どちらかといえばそう思う」が49.2%であり、あわせて57.1%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、70歳以上(64.4%)でやや高くなっている半面、30歳代(47.9%)、10歳代(50.0%)ではやや低くなっています。

居住地区別では、高取小学校区(63.6%)で全体よりやや高くなっています。



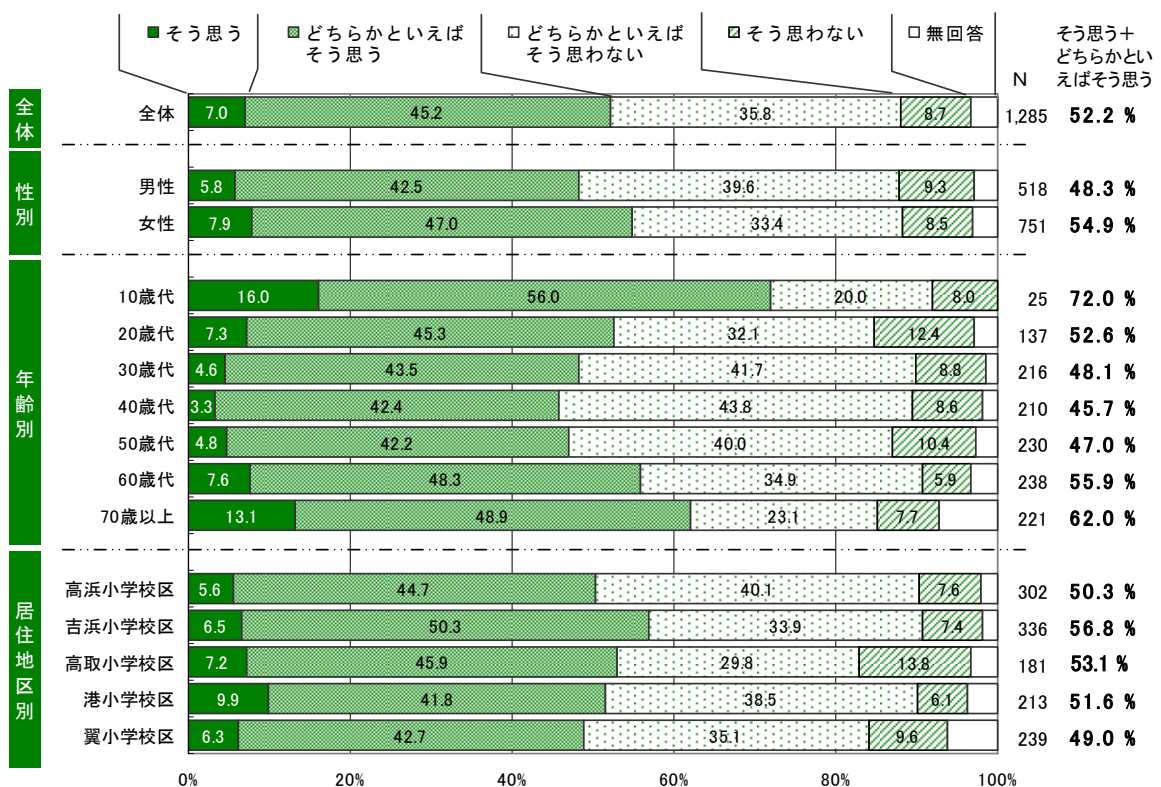
【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、40歳代（45.7%⇒60.1%）で10ポイント以上高く、50歳代（47.0%⇒55.3%）でもやや高くなっています。一方、10歳代（72.0%⇒50.0%）では20ポイント以上低くなっています。

居住地区別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、翼小学校区（49.0%⇒60.9%）及び高取小学校区（53.1%⇒63.6%）で10ポイント以上高くなっています。

《参考：前回調査の結果（H22年度）》

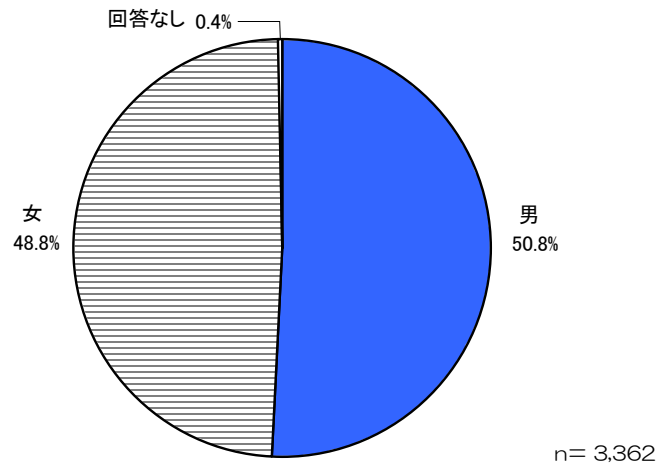


3 児童・生徒の意識や行動に関するアンケート

(1) 回答者の属性

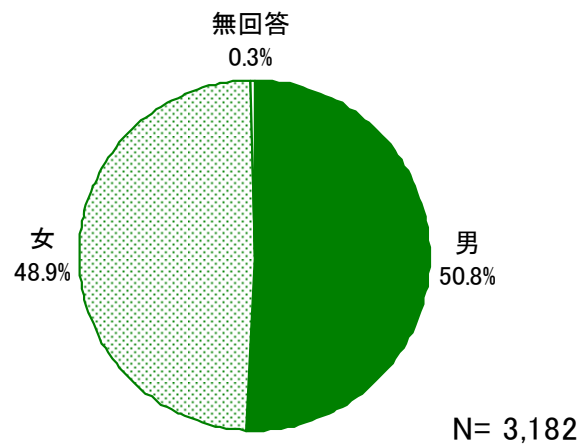
1) 性別

「男性」が 50.8%、「女性」が 48.8%
となっています。



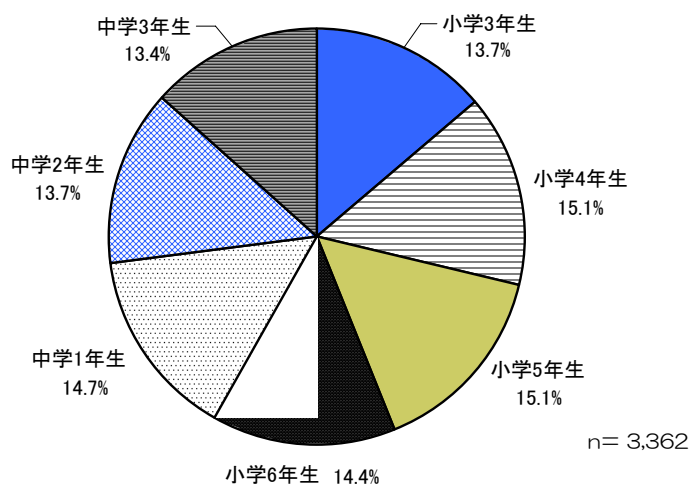
《参考: 前回調査の結果 (H22 年度)》

「男性」が 50.8%、「女性」が 48.9%
となっています。



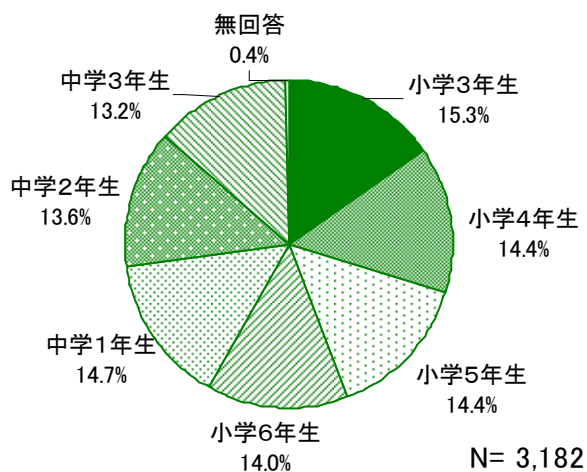
2) 学年

「小学3年生」から「中学3年生」まで、いずれの学年もまんべんなく13～15%程度となっています。



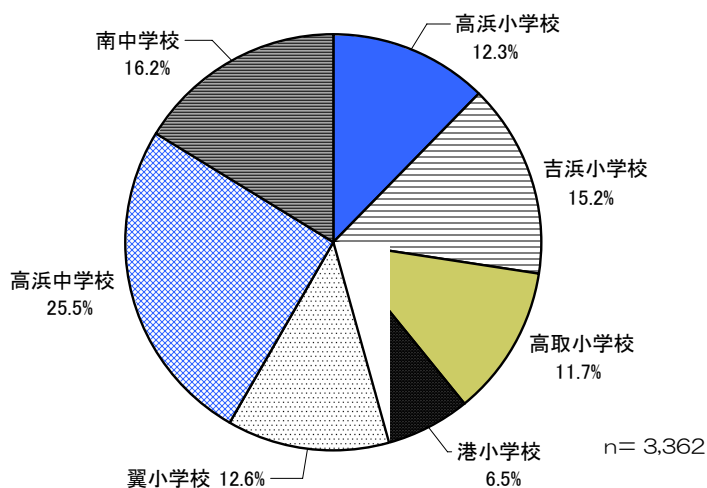
《参考: 前回調査の結果 (H22 年度)》

「小学3年生」から「中学3年生」まで、いずれの学年も13～15%程度となっています。



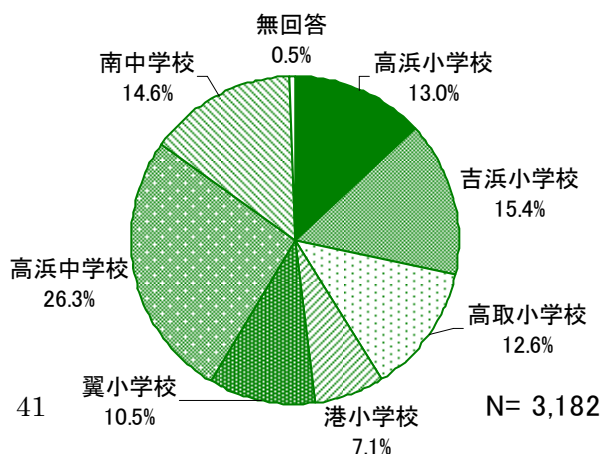
3) 小学校・中学校

「高浜中学校」(25.5%)が最も多く、「南中学校」(16.2%)、「吉浜小学校」(15.2%)の順となっています。



《参考: 前回調査の結果 (H22 年度)》

最も多いのは「高浜中学校」で26.3%、次いで「吉浜小学校」15.4%となっています。

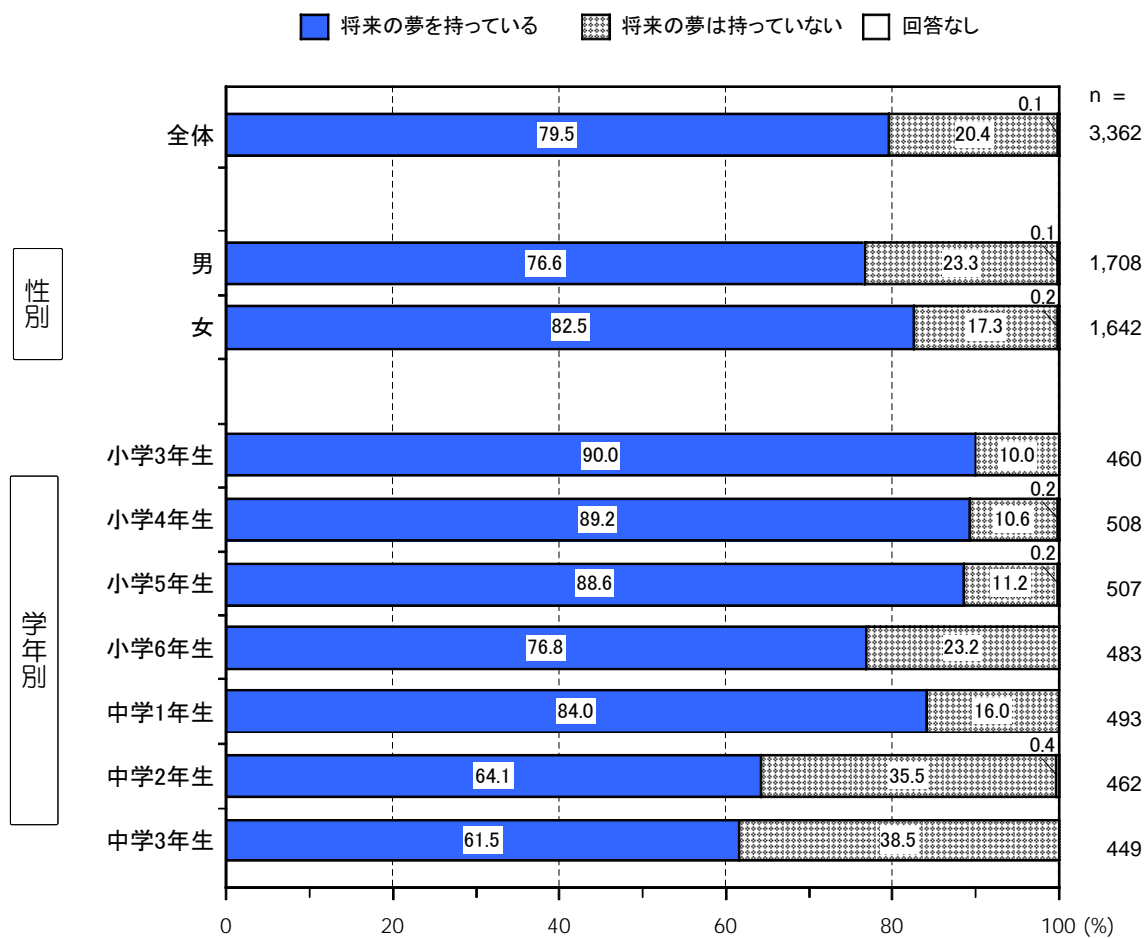


(2) 児童・生徒の意識

1) あなたは将来の夢を持っていますか？

「将来の夢を持っている」児童・生徒の割合は、79.5%となっています。

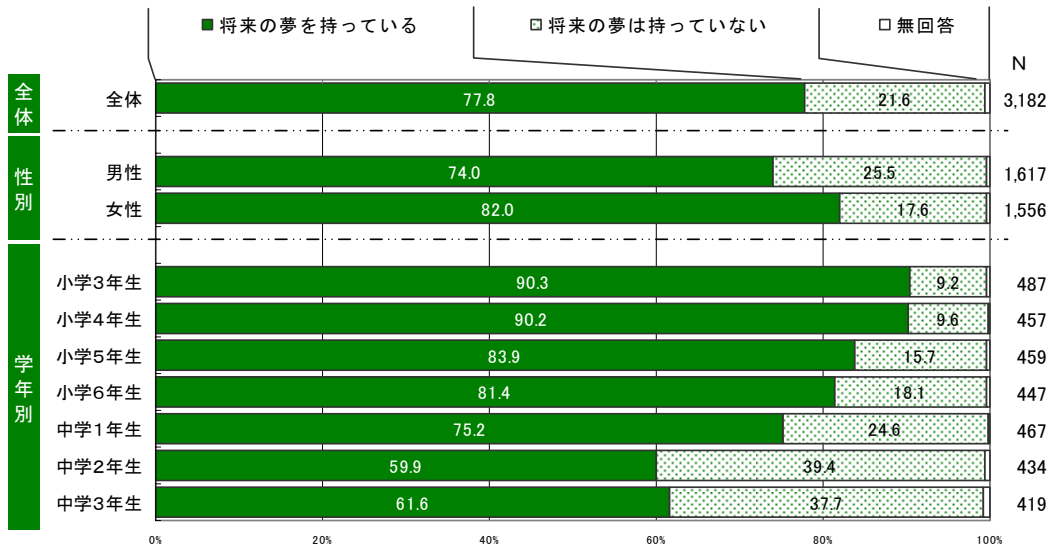
学年別では、小学3年生(90.0%)が最も高く、最も低い中学3年生(61.5%)までの間、おおむね学年が進むほど低くなっています。



【前回調査との比較】

全体並びに学年別で、それほど大きな変化はみられませんでした。

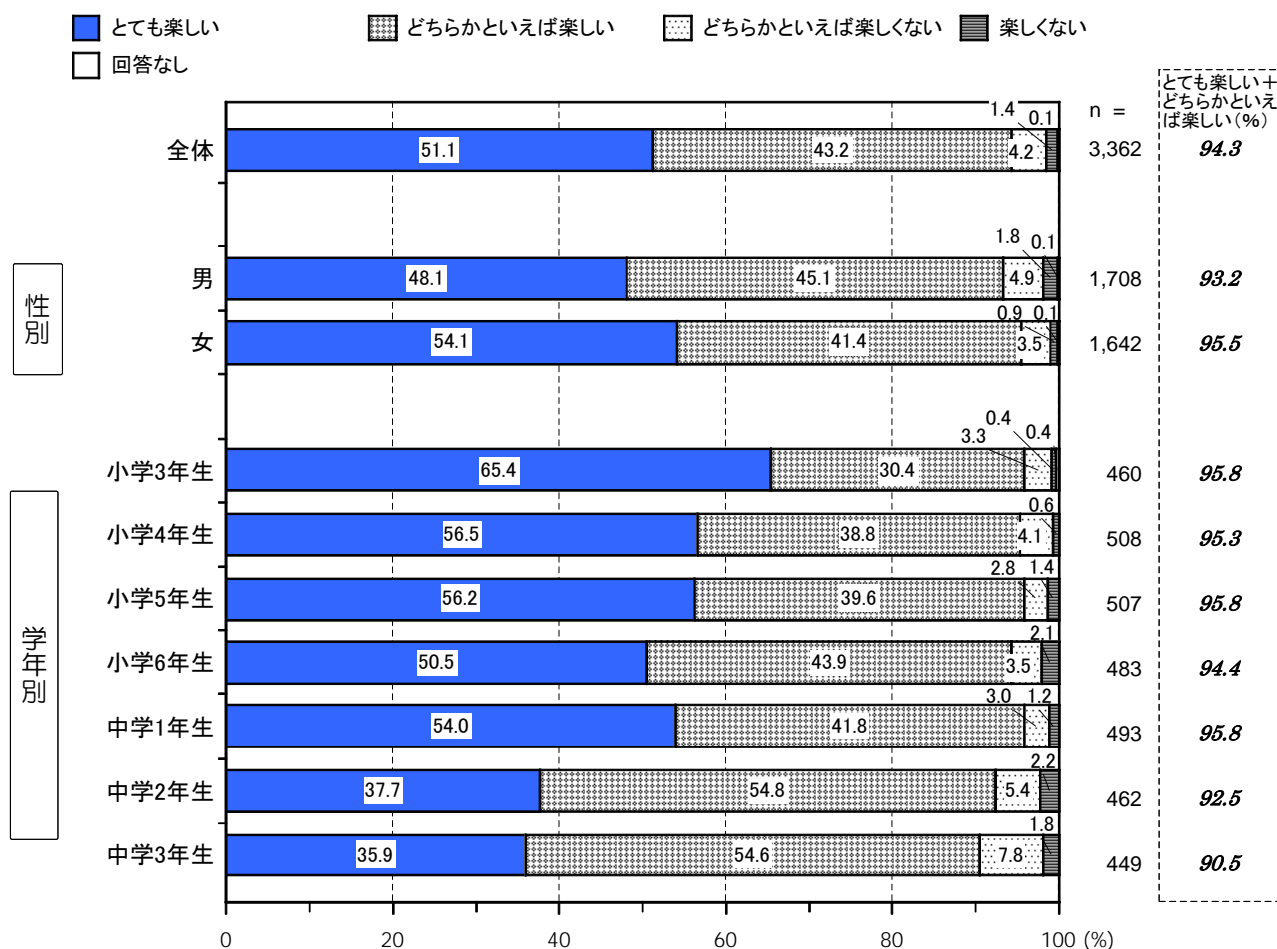
《参考：前回調査の結果(H22年度)》



2) あなたは毎日がとても楽しいと感じていますか？

「毎日が楽しいと感じている」児童・生徒の割合は、「とても楽しい」が51.1%、「どちらかといえば楽しい」が43.2%であり、あわせて94.3%となっています。

学年別では、「とても楽しい」という回答の割合が中学3年生(35.9%)、中学2年生(37.7%)で全体に比べ10ポイント以上低くなっています。

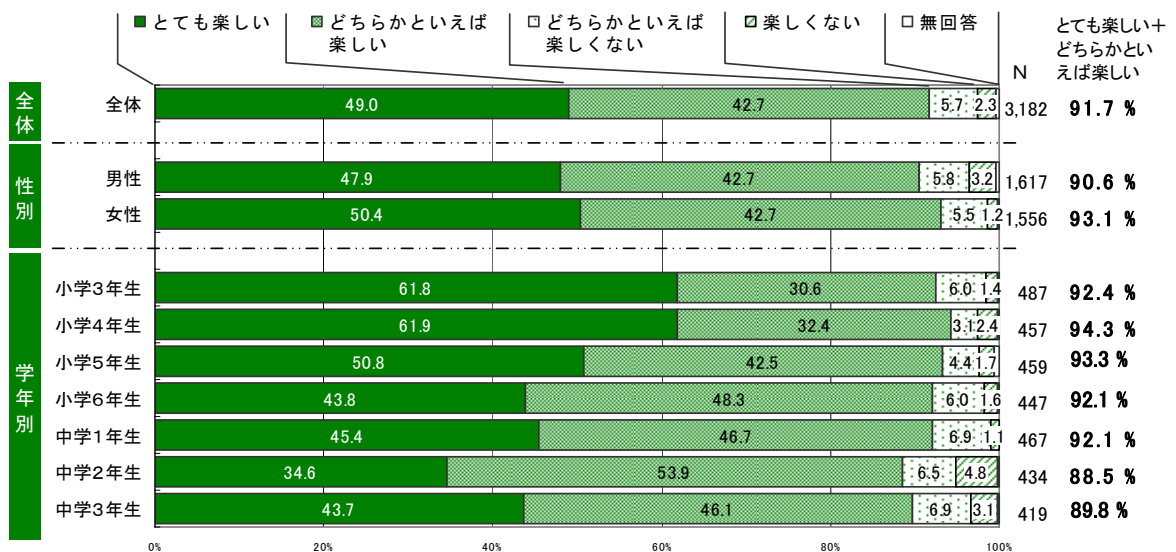


【前回調査との比較】

「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」の合計で比較すると、全体並びに学年別ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

「とても楽しい」の結果を学年別で見ると、中学1年生（45.4%⇒54.0%）、小学6年生（43.8%⇒50.5%）、小学5年生（50.8%⇒56.2%）でやや高くなっています。一方、中学3年生（43.7%⇒35.9%）及び小学4年生（61.9%⇒56.5%）ではやや低くなっています。

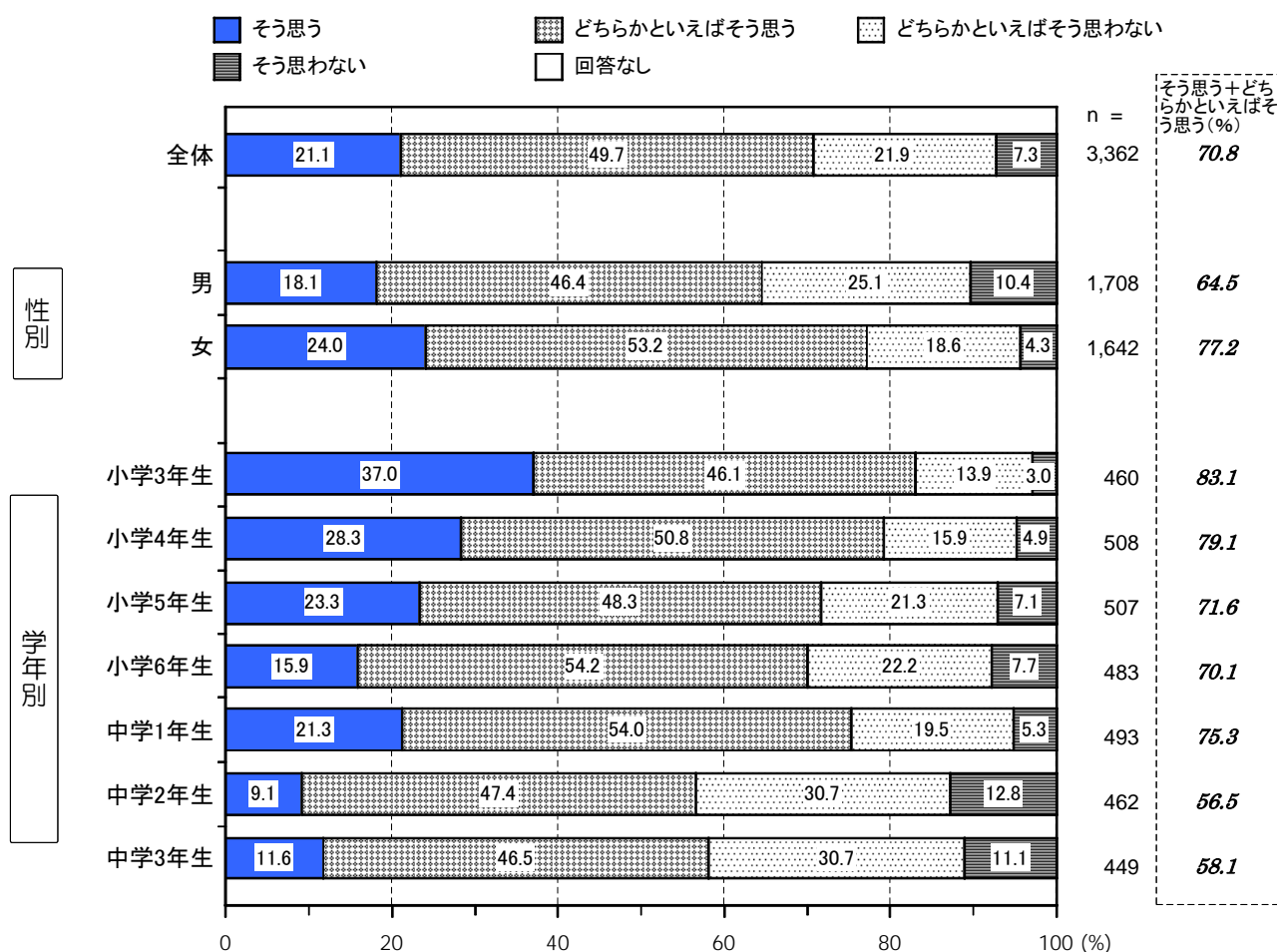
《参考：前回調査の結果（H22年度）》



3) あなたは学校や自分の家などで、学習に積極的に取り組んでいると思いますか？

「学校や自分の家などで学習に積極的に取り組んでいる」児童・生徒の割合は、「そう思う」が21.1%、「どちらかといえばそう思う」が49.7%であり、あわせて70.8%となっています。

学年別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、小学3年生(83.1%)で全体より10ポイント以上高く、小学4年生(79.1%)でやや高くなっています。一方、中学2年生(56.5%)及び中学3年生(58.1%)で10ポイント以上低くなっています。

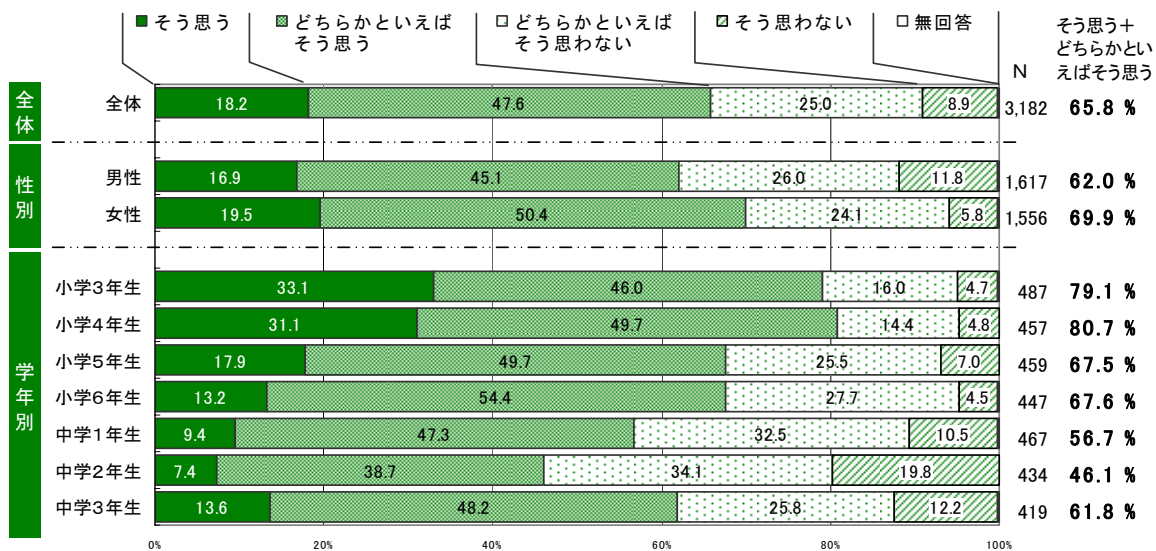


【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では 65.8%から 70.8%とやや高くなっています。

学年別でみると、中学 1 年生 (56.7%⇒75.3%) で約 20 ポイント高くなっているほか、中学 2 年生 (46.1%⇒56.5%) でやや高くなっています。

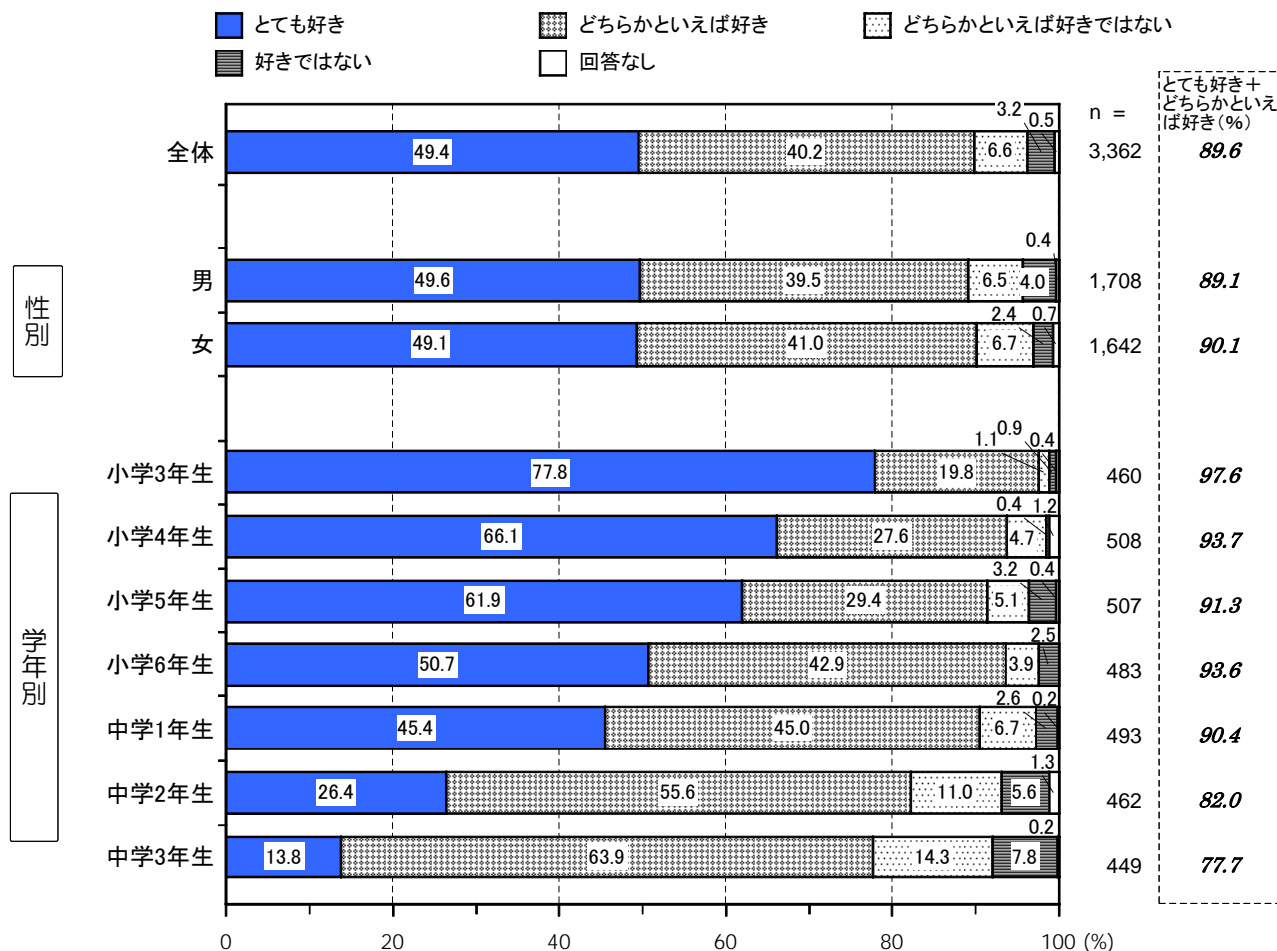
《参考: 前回調査の結果 (H22 年度)》



4) あなたは、高浜市というまちが好きですか。

「高浜市というまちが好き」と答えた児童・生徒の割合は、「とても好き」が49.4%、「どちらかといえば好き」が40.2%であり、あわせて89.6%となっています。

学年別では、「とても好き」という回答が小学3年生(77.8%)から中学3年生(13.8%)までの間、学年が進むほど低くなっています。

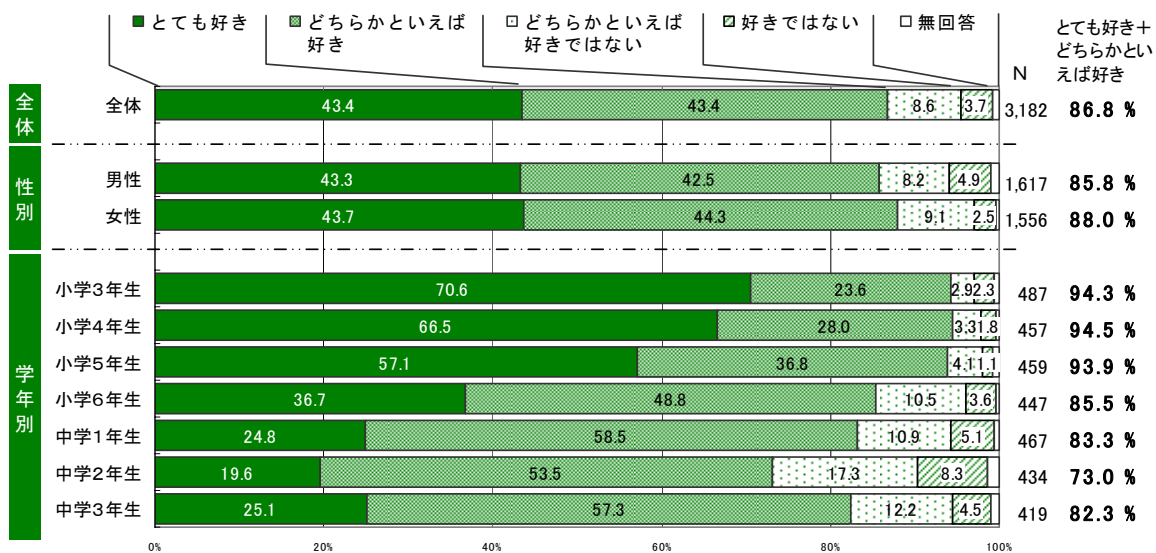


【前回調査との比較】

全体ではそれほど大きな変化はみられませんでした。

学年別で見ると、「とても好き」と「どちらかといえば好き」をあわせると、中学2年生（73.0%⇒82.0%）でやや高くなっています。

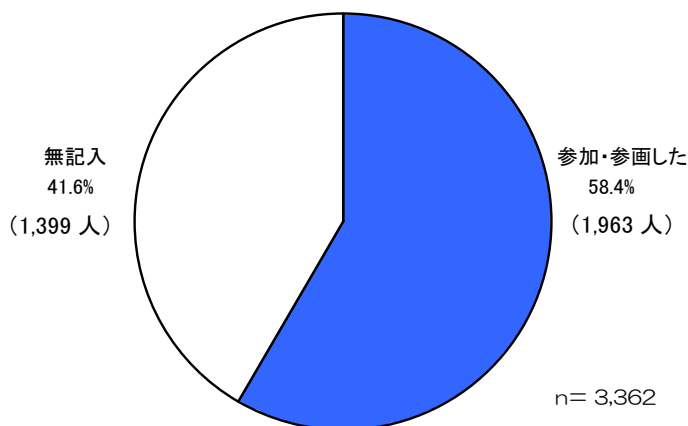
《参考：前回調査の結果（H22年度）》



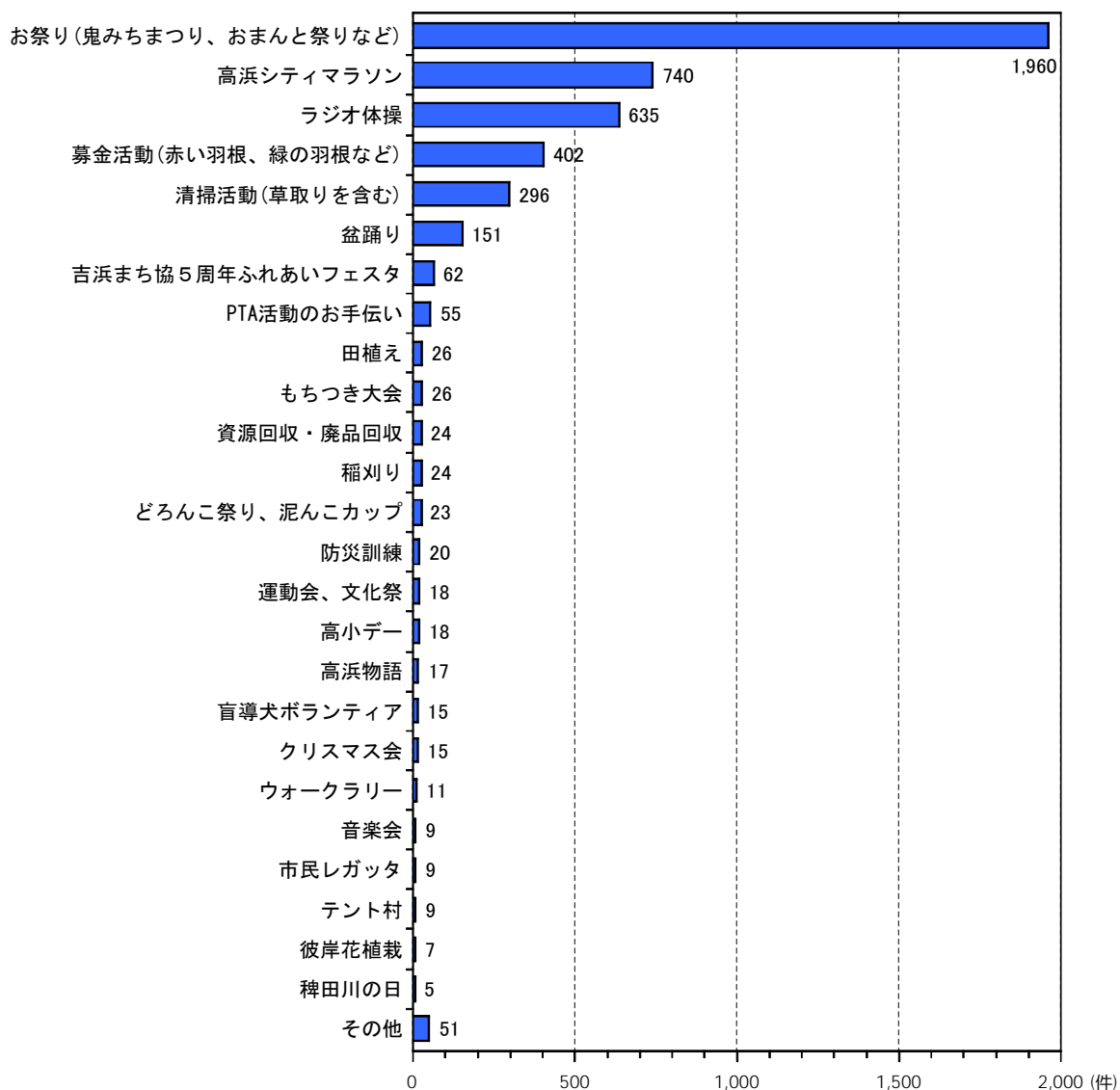
(3) 地域行事やボランティア活動の参加・参画状況

1) 過去1年間に「参加・参画」した地域行事、ボランティア活動【複数回答】

「過去1年間に地域行事、ボランティア活動に参加もしくは参画した」児童・生徒の割合は58.4%にのぼります。



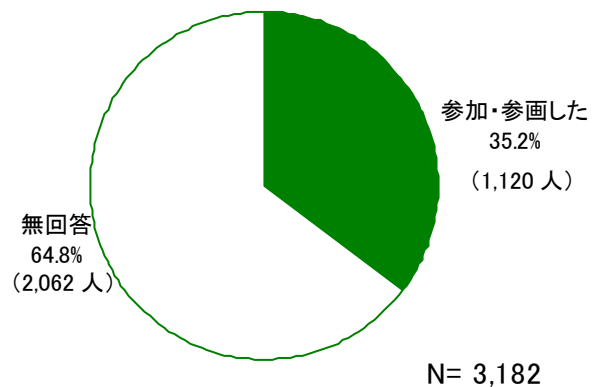
活動の内容は、「お祭り」や「高浜シティマラソン」、「ラジオ体操」、「募金活動」などが多くなっています。



【前回調査との比較】

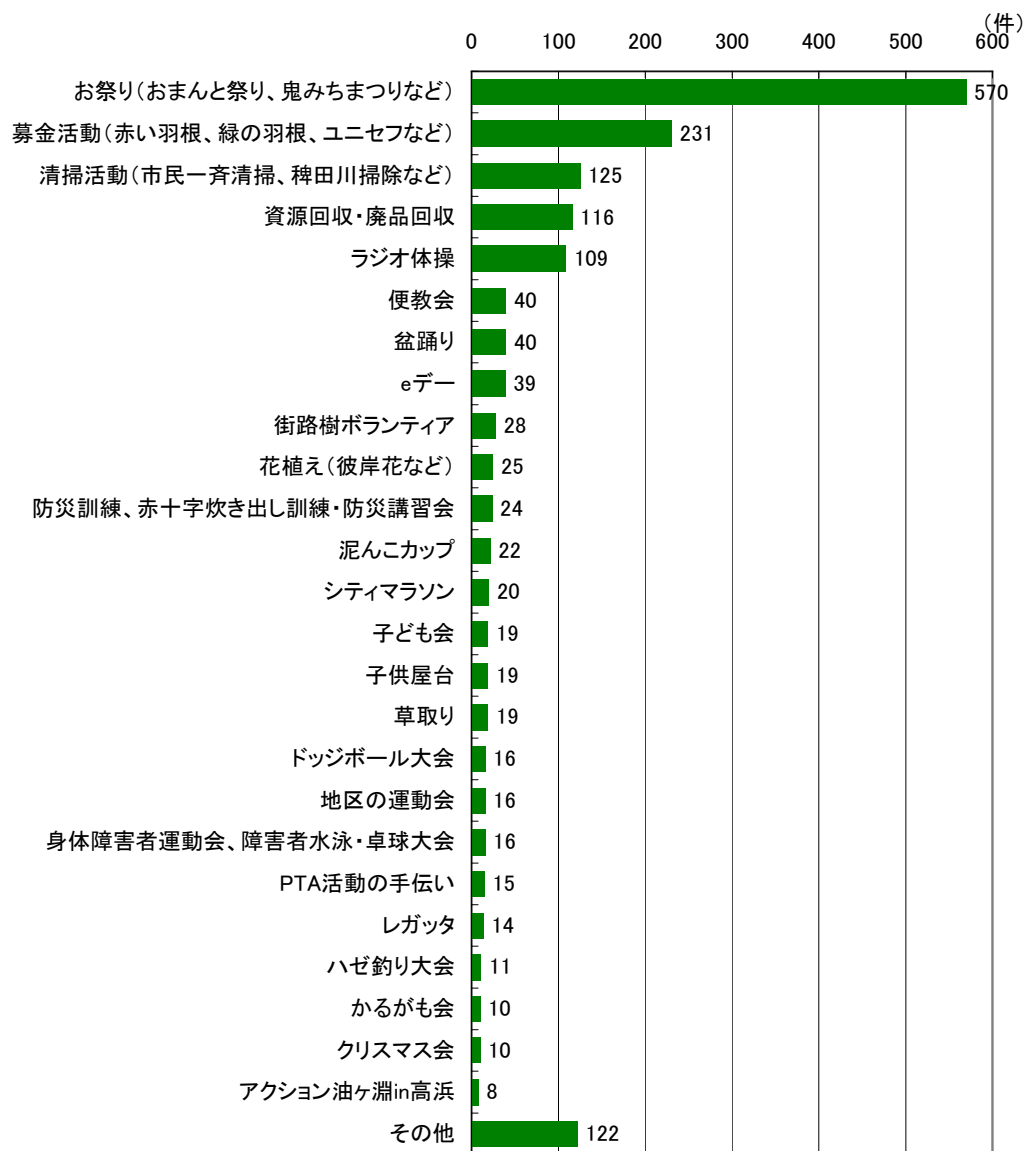
「過去1年間に地域行事、ボランティア活動に参加もしくは参画した」児童・生徒の割合は35.2%から58.4%と20ポイント以上高くなっています。

《参考: 前回調査の結果(H22年度)》



活動の内容については、「お祭り」(570件⇒1,960件)や「募金活動」(231件⇒740件)など前回から継続して上位にある行事・活動に加え、「高浜シティマラソン」(20件⇒740件)、「ラジオ体操」(109件⇒635件)など件数が大きく伸びた行事・活動もあります。

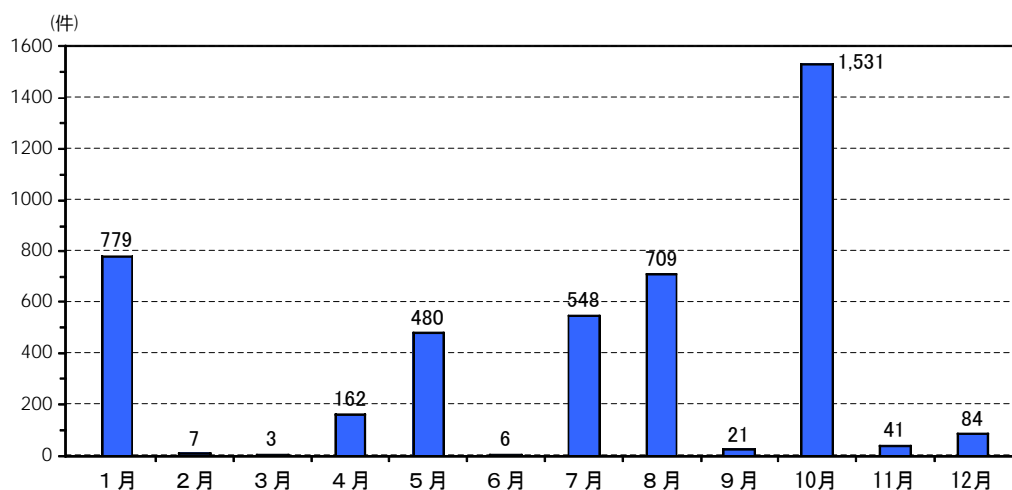
《参考: 前回調査の結果(H22年度)》



2) 地域行事、ボランティア活動の活動時期

地域行事、ボランティア活動の活動時期は、「10月」(1,531件)、「1月」(779件)、「8月」(709件)が多くなっています。

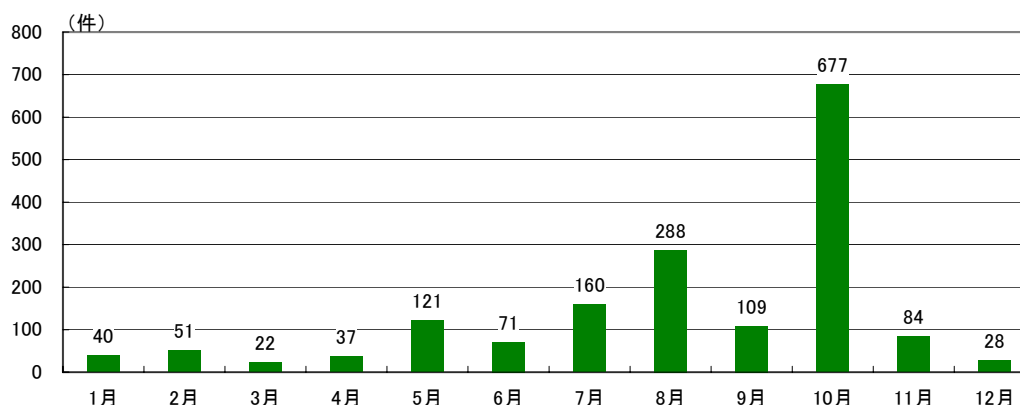
なお、「10月」は、おまんと祭り、鬼みちまつり、大山公民館祭、赤い羽根募金、資源回収など、「1月」は、高浜シティマラソン、もちつき大会などの活動がそれぞれ行われています。



【前回調査との比較】

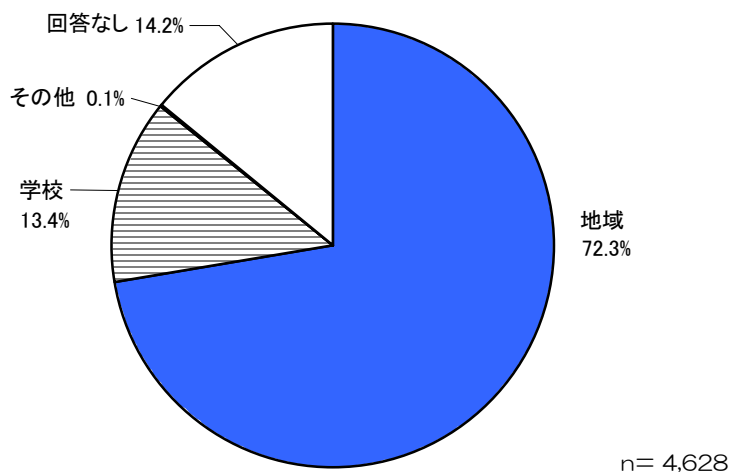
地域行事、ボランティア活動の活動時期については、各種イベントシーズンである「10月」(677件⇒1,531件)が引き続き最も多く、次いで高浜シティマラソンの件数が増えた「1月」(40件⇒779件)となっています。

《参考: 前回調査の結果(H22年度)》



3) 地域行事、ボランティア活動の活動場所

地域行事、ボランティア活動の活動場所は、「地域」が72.3%、「学校」13.4%の順になっています。

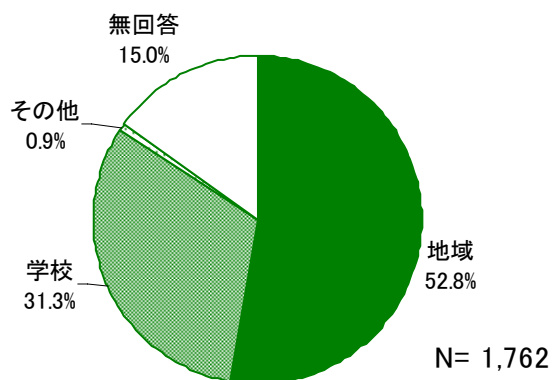


※母数 (N) は、地域行事、ボランティア活動の回答数の合計

【前回調査との比較】

地域行事、ボランティア活動の活動場所は、「地域」(52.8%⇒72.3%)の割合が高くなった反面、「学校」(31.3%⇒13.4%)は低くなっています。

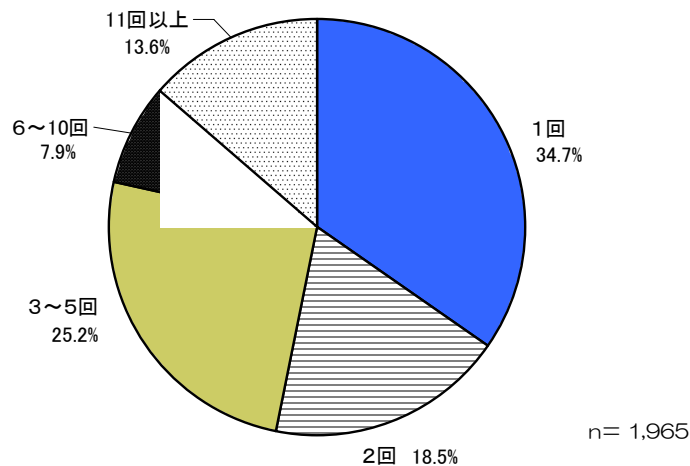
《参考: 前回調査の結果(H22年度)》



※母数 (N) は、地域行事、ボランティア活動の回答数の合計

4) 地域行事、ボランティア活動の活動回数

過去1年間に地域行事、ボランティア活動に参加もしくは参画した人の年間の活動回数をみると、「1回」が34.7%、「2回」が18.5%、「3～5回」が25.2%で、平均は4.1回となっています。



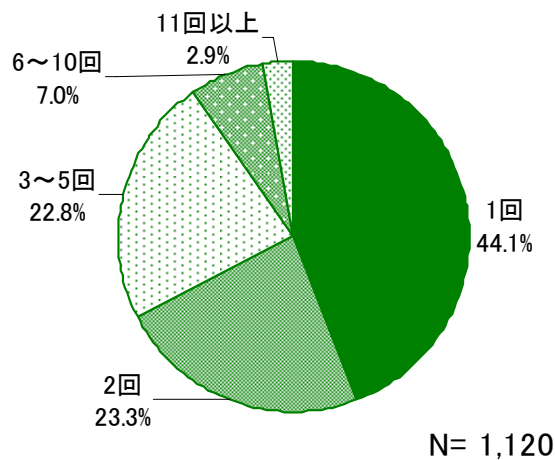
※母数 (N) は、地域行事、ボランティア活動に参加・参画した人の数

【前回調査との比較】

過去1年間に地域行事、ボランティア活動に参加もしくは参画した人の年間の活動回数について、「1回」(44.1%⇒34.7%)の割合がやや低くなり、「11回以上」(2.9%⇒13.6%)が10ポイント以上高くなっています。

なお、平均回数は2.8回から4.1回に増加しています。

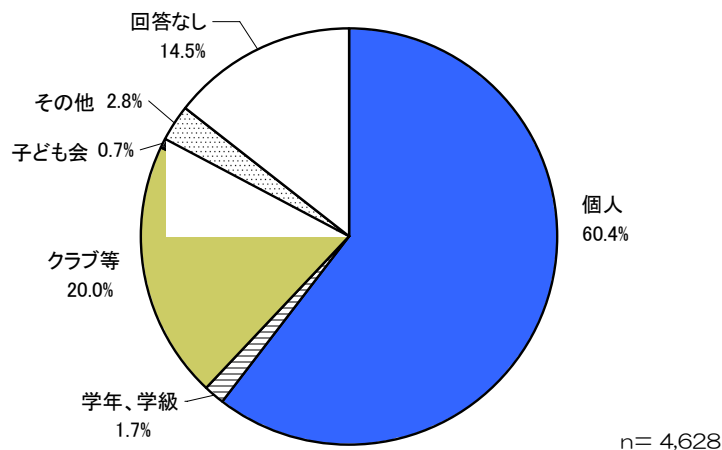
《参考: 前回調査の結果 (H22 年度)》



※母数 (N) は、地域行事、ボランティア活動に参加・参画した人の数

5) 地域行事、ボランティア活動の活動団体

地域行事、ボランティア活動の活動団体は、「個人」が60.4%で最も多く、次いで「クラブ等」が20.0%となっています。

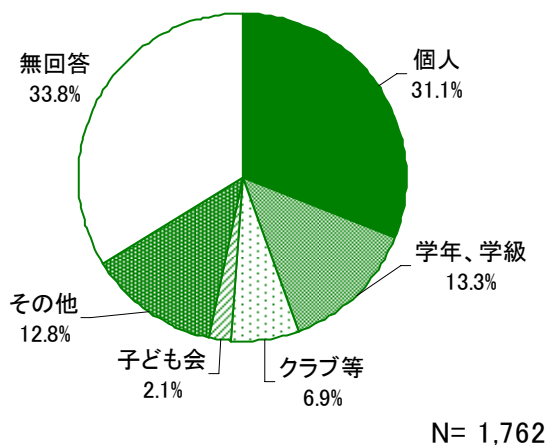


※母数 (N) は、地域行事、ボランティア活動の回答数の合計

【前回調査との比較】

地域行事、ボランティア活動の活動団体については、「個人」(31.1%⇒60.4%)が30ポイント近く、「クラブ等」(6.9%⇒20.0%)が10ポイント以上それぞれ高くなった反面、「学年、学級」(13.3%⇒1.7%)が10ポイントほど少なくなっています。

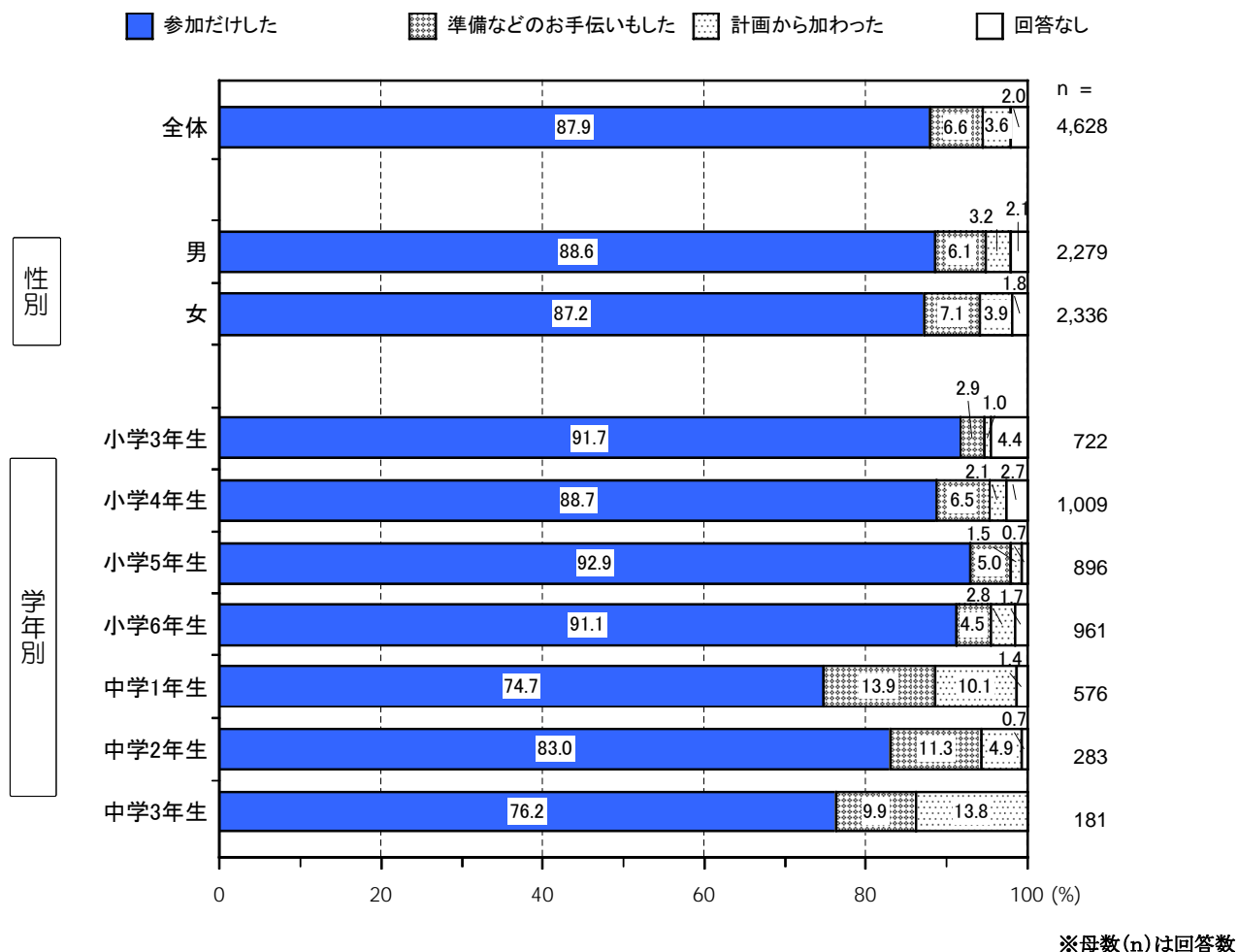
《参考: 前回調査の結果 (H22 年度)》



※母数 (N) は、地域行事、ボランティア活動の回答数の合計

6) 地域行事、ボランティア活動の参加・参画状況

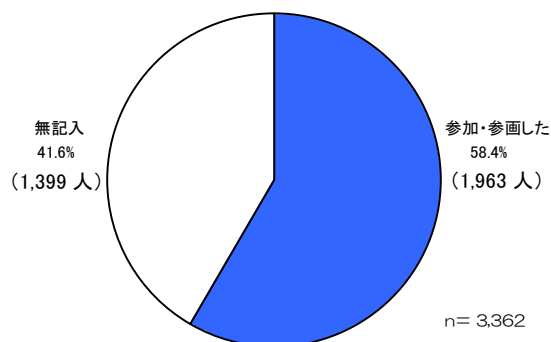
地域行事、ボランティア活動の参加・参画状況は、「参加だけした」87.9%、「準備などの手伝いもした」6.6%、「計画から加わった」3.6%となっています。



	参加・参画件数に占める割合	参加・参画件数	参加・参画人数	児童・生徒数(3,362人)に占める参加・参画人数の割合
参加だけした(参加)	87.9%	4,068件	1,725人	51.3%
準備などのお手伝いもした(参加)	6.6%	305件	130人	3.9%
計画から加わった(参画)	3.6%	167件	71人	2.1%

《参考》(50ページより再掲)

「過去1年間に地域行事、ボランティア活動に参加もしくは参画した」児童・生徒の割合は58.4%にのびます。



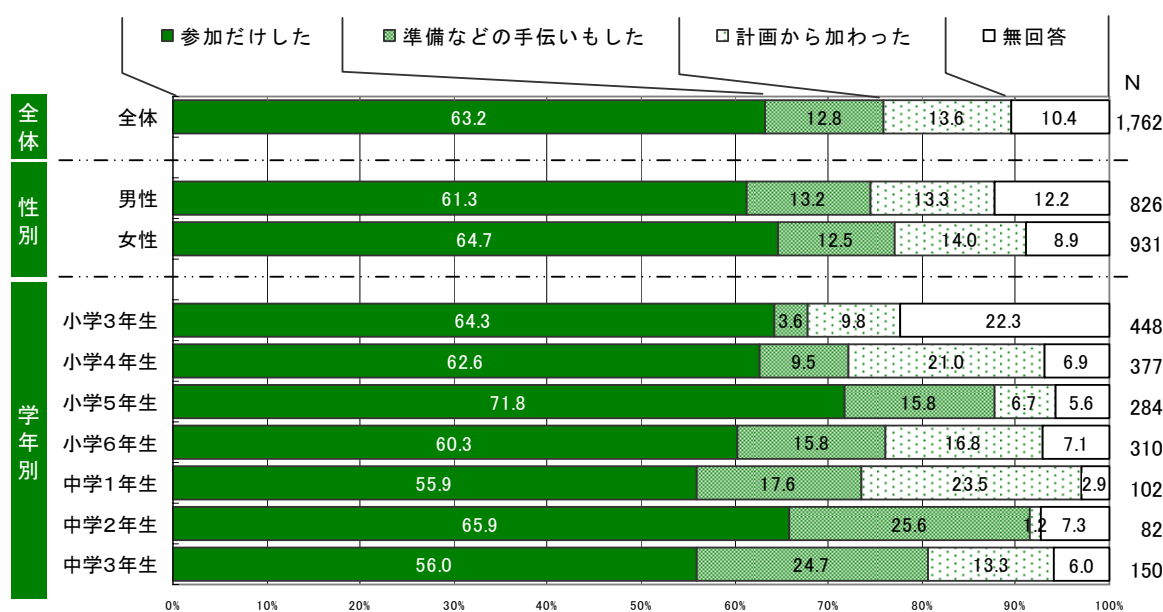
【前回調査との比較】

地域行事、ボランティア活動の参加・参画状況は、「参加だけした」(63.2%⇒87.9%)が20ポイント以上高くなった半面、「計画から加わった」(13.6%⇒3.6%)で10ポイント低くなり、「準備などの手伝いもした」(12.8%⇒6.6%)もやや低くなっています。

これは、活動件数の母数(1,762件⇒4,628件)が2.5倍以上増加していることから、「計画から加わった」「準備などの手伝いもした」の割合が相対的に低くなったと考えられます。

「過去1年間に地域行事、ボランティア活動に参加もしくは参画した児童・生徒の割合」(35.2%⇒58.4%)は20ポイント以上高くなっていることから、参加状況は活発になっているといえます。

《参考: 前回調査の結果(H22年度)》



	参加・参画件数に占める割合	参加・参画件数	参加・参画人数	児童・生徒数(3,182人)に占める参加・参画人数の割合
参加だけした(参加)	63.2%	1,114件	708人	22.3%
準備などのお手伝いもした(参加)	12.8%	226件	143人	4.5%
計画から加わった(参画)	13.6%	240件	152人	4.8%

《参考: 前回調査の結果(H22年度)》

(50ページより再掲)

